

「上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略」

検証結果（事業評価及び進捗状況）報告書

平成30年度
上牧町

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価シート一覧

基本目標	基本的方向	基本施策	取組内容
①教育・子育て環境を整え、プライベートと仕事の両立を支援する	(1)地域による教育・子育て環境の充実	1. 子どもの学力向上支援	1. 学校支援事業の研究・協議 2. ICTを活用した教育支援 3. 学習支援教室の開催 4. 様々な専門講座の開催 5. スポーツ教室や野外活動教室の開催
		2. 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト	6. 学校を中心としたコミュニティ網の形成 7. 子育てにおける様々なコミュニティ形成プログラムの企画・運営 8. すべての学習活動を道徳教育や人権教育を意識し推進 9. 子どもの読書活動の推進
		3. 地域ぐるみの子育て支援	10. 情報交換拠点の整備 11. 地域における保育環境の改善事業 12. 乳幼児子ども防災意識向上事業の実施
		4. 就学前教育の実施	13. 英語教育の実施 14. 体育教育の実施
	(2)ライフスタイルの多様化に対応した結婚・出産・子育て支援	1. 結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援	15. 婚活イベントの企画・実施 16. 結婚希望者相談窓口の設置 17. ワンストップ相談窓口の設置 18. マタニティー教室の開催 19. 乳児・幼児健診の実施 20. 新米ママへの訪問カウンセリングの拡充
		2. 不妊・不育症治療支援	21. 不妊治療助成制度の創設 22. 不育症治療助成制度の創設
		3. 安心して共働きできる環境整備	23. 通勤時間のかかる世帯の延長保育料金の支援 24. 病児病後児保育機能の強化と保護者負担の軽減 25. 子育て支援セミナーの開催 26. パパ教室の開催 27. 乳幼児教育の充実 28. ファミリー・サポートセンターの実施 29. 放課後児童クラブの充実 30. 子育てママ就業支援事業
		4. 特別支援教室の充実	31. 通級指導教室の充実
	(3)ふるさと教育の充実	1. ふるさと教育の充実	32. 県や地域と連携した学習体験・交流活動の実施 33. 県内優良企業や町内企業における職場体験学習

基本目標	基本的方向	基本施策	取組内容	
②若者世帯を中心とした転入世帯が住みやすい住環境を整備する	(1)既存ストックを活用した住環境の整備	1. 空き家活用プロジェクト	34. 空き家バンク登録物件の説明会の開催 35. 登録物件の測量及び活用事例の紹介 36. 貸主と借主との仲介	
		2. UR住宅の活用による若者世帯の定住促進	37. UR住宅の活用協議 38. UR住宅へ入居促進	
		3. 公共交通の利便性向上	39. 上牧町交通政策検討会の開催 40. コミュニティバスの利用促進	
		4. コンパクトシティPR活動	41. 上牧町魅力発信ツアーの実施 42. イベント等における町のPRの実施	
	(2)若年層の帰りの促進	1. 同居・近居支援	43. 同居・近居相談窓口の設置	
		2. 帰っておいでプロジェクト	44. 大規模同窓会等の支援 45. 地域イベントへの招待	
	③広域連携・地域連携による地域力の向上を推進する	(1)地域資源を活用した広域連携による魅力創出	1. 北葛4町における公共施設の相互利用	46. 公共施設の相互利用 47. 相互利用施設の情報発信
			2. 地域資源をつなぐネットワークの形成	48. 広域連携による観光プログラムの企画・周知・運営 49. 久渡古墳群等の文化財の保存及び整備の推進 50. 滝川整備事業
(2)広域連携による地域力の向上		1. 空き家バンクの共同利用	51. 近隣自治体との空き家バンクの共同運営	
(3)地域活動・NPO活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出		1. 人材バンクの拡充	52. 町内の優れた技術・能力を有する人材発掘 53. 人材バンクの情報発信	
		2. 地域活動・NPO活動への参加機会の創出	54. 地域活動支援 55. 地域活動の情報発信 56. 新規NPOの立ち上げ支援 57. ボランティアの育成・団体立ち上げ支援 58. 自治会設立支援	
		3. 防災活動支援・促進	59. 防災訓練の定期的な実施支援 60. 近隣自治体との合同防災訓練の実施 61. 子供向け防災教室の拡充	
		4. 公募型補助金の活用促進	62. 上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業	
④上牧町で働き続けられる環境をつくる		(1)地域資源を活用した雇用支援	1. 空き家を活用した雇用創出	63. 空き家への事業者入居及び町民雇用の促進 64. 町内事業所勤務者の入居促進
			2. 就職情報発信及び就職支援	65. 就職情報発信 66. 就職準備セミナーの開催

1. 学校支援事業の研究・協議

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 運営委員会は年に2回会議が行われ、一例としては、ボランティアの人数確保のための募集方法を議論し、従来の広報チラシ以外に募集の場所、回数などを増やした結果、パートナーシップ事業について、町民に幅広く周知することができ、ボランティアの人数は増加傾向です。 また、会議内で、自治会長等から活動についての提案・質問が多く、関心が寄せられています。 29年度事業報告の会議では、実施校を代表して上牧第二小学校で行われたボランティアと児童の交流会「ありがとう集会」の様子を映像で見ていることができました。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する方向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 今後も子どもの学力向上を含め、地域で子どもたちを育てるためには、各学校・園に応じた取組が求められています。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 必要性が高い <input type="checkbox"/> B. 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C. 必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 地域で学校を支える事業であり、安全確保等を含め町の関与が必要です。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 ボランティア活動は大きく分けて、学習支援(授業の補助)・図書支援・環境支援があります。学校側は、主に学習支援を希望していますが、地域(ボランティア)側は環境支援を希望する人が多くおられます。要望のバランスがうまくとれるようになるための解決策を研究・協議する必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況	⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
		説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小	
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小	
今後の取組方針	学校によってムラがあるボランティア欠員の補充方法や、学校側の要望と地域側の要望のバランスがとれるような解決策、子どもの学力向上のための施策等、地域で子どもを育てる取組や様々な課題を話し合う場として積極的な意見交換を行う方針です。 また、各校が抱える様々な問題を吸い上げ、その問題解決のため、県及び他市町村の情報を収集、研究・協議を進めます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定	平成29年度に引き続き上牧町学校・地域パートナーシップ事業は課題解決を図りながら取り組んでいく予定です。		

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

担当部	教育部	事業年度	平成29年度	総合戦略掲載ページ	【57ページ】
担当課	教育総務課	担当係	総務係（教育総務）	関連部局	

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	①教育・子育て環境を整えプライベートと仕事の両立を支援する				
	基本的方向	①地域による教育・子育て環境の充実				
	施策	①子どもの学力向上支援				
	取組内容	②ICTを活用した教育支援				
実施の予定・計画	2016年度 (H28年度) 終了時点	②実施済み (継続)	2017年度 (H29年度) 実施予定	①実施する（継続）	説明 (その他の場合)	
実施内容（当初計画）	ICTの急速な発展とグローバル化が進む社会において、子どもから高齢者まで情報活用能力を身につけることが求められており、また、ICTを授業に活用することで、教育の質の向上も期待できます。そのため、授業でのICT機器の活用を推進することを目的として、教職員のICT研修を推進します。平成29年度は、学校の夏期休業中（8月）に、全教職員を対象に夏期ICT研修会を開催し、教職員の研鑽を図ります。					
取組独自の指標	指標①	I C T機器を活用した授業づくりに関する研修			2017年度 (H29年度) 目標（値）	2回
	指標②				2017年度 (H29年度) 目標（値）	
予算計上時期	当初及び補正	当初	補正	説明 (補正のある場合等)	第1回補正 備品購入費	
		9,649	5,884			

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	2017年度 (H29年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (予算)	2018年度 (H30年度) (予定)	2019年度 (H31年度) (予定)	備考	
	2018年度 (H30年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (決算見込)	2018年度 (H30年度) (予算)	2019年度 (H31年度) (予定)		
コスト	使用料及び賃借料	10,067	9,649	7,787	8,861		
		10,067	9,582	7,787	4,447		
	備品購入費	673	5,884	0	0		
		673	5,363	0	0		
総事業費		10,740	15,533	7,787	8,861	累計 (前年度時点) 42,921	
		10,740	14,945	7,787	4,447	累計 (今年度時点) 37,919	
2017年度 (H29年度) 実施結果	実施状況	①当初の計画通りに実施した					
	説明 (「実施状況」で①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載するもの)						

同施策における取組内容	総合戦略記載担当課	KPI	2015年度 (H27年度) (基準値)	2016年度 (H28年度) 実績値	2017年度 (H29年度)		2018年度 (H30年度) 目標値	2020年 (H32年) (最終目標値)
					予定値	実績値		
★ICTを活用した教育支援	★教育総務課	勉強が好き・よくわかる子どもの割合	【小学6年】 ○国語56.7% (県61.4%) ○算数66.3% (県62.8%) 【中学3年】 ○国語51.3% (県56.5%) ○数学59.0% (県53.2%)	【小学6年】 国語55.2% (県58.7%) 算数61.2% (県63.2%) 【中学3年】 国語54.6% (県56.2%) 数学55.0% (県53.6%)	県平均以上	【小学6年】 国語57.4 (県58.5) 算数63.3 (県63.9) 【中学3年】 国語49.2 (県56.7) 数学57.1 (県54.6)	県平均以上	★県平均以上

2.ICTを活用した教育支援

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①	I C T 機器を活用した授業づくりに関する研修	実績（値）	2回
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 上牧町 授業研究プロジェクト『夏期研修会』 （2回実施） ・テーマ【授業におけるICT機器の活用と教材づくり】 対象者 教職員 ●講師は町内の教員が務め、実際に授業で導入しているICT機器を紹介し、参加者には教材づくりに挑戦してもらいました。 ①8/22（火）参加者 36名 ②8/24（木）参加者 29名 ・ICT研修後の教職員アンケートの結果、「ICT機器の積極的な活用を必要と考える」「ICTによる活用は、子どものイメージ作りに効果がある」「効果的なICTの活用の研究、工夫を行いたい」「ICTは苦手だが、子どもたちには効果的である」などの肯定的な意見が大部分を占めています。また、「うまくICT機器を活用できない」「準備に時間を要するのでは」「機械なので故障等に対応ができない」などの否定的な意見もありますが、どの教員も今後の活用の必要性を認識しています。 ICTの活用について、教職員で意見交換をしたり、情報活用能力を身につけるための研修は、意義があったと考えられます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 この事業の目的は、「勉強が好き・よくわかる子どもを増やす」ことであり、その手立てとして、教員がICT機器を効果的に活用して分かりやすい授業を実施することが挙げられます。そのためには、教員自身のICT機器に関するスキルを向上させることが重要であり、その部分にニーズがあります。教員の I C T 機器に関するスキルは個人差があり、全体の底上げはこれからの展開が重要です。成果を早急に求めることは難しいですが、2020年プログラミング教育必修化に向けては、I C T 教育の一層の充実が求められるので、先を見据えた取り組みが必要であると考えます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 義務教育の一端であり、ICT機器等の整備は町の責任と考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 ・2020年プログラミング教育必修化に向けて、教職員の指導力向上を目指した研修会を考慮して実施していく必要があります。 ・ICT機器の整備、充実を図ります。 ・ICT機器を効果的に活用し、児童生徒の学習意欲の向上を促し、学力向上につながる授業を実施していきます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		・ICT機器を効果的に活用することで、児童生徒の学習意欲の向上を促し、学力向上につながる授業を実施していきます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		・2020年プログラミング教育必修化に向けて、授業ですぐに使える事、準備が容易であることなど、より実践的で教職員のニーズに合った研修会を考慮して実施していきます。 ・ICT機器の整備について、順次行っていく予定です。		

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

担当部	教育部	事業年度	平成29年度	総合戦略掲載ページ	【57ページ】
担当課	社会教育課	担当係	生涯学習推進係	関連部局	

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	①教育・子育て環境を整えプライベートと仕事の両立を支援する				
	基本的方向	①地域による教育・子育て環境の充実				
	施策	①子どもの学力向上支援				
	取組内容	③学習支援教室の開催				
実施の予定・計画	2016年度 (H28年度) 終了時点	②実施済み (継続)	2017年度 (H29年度) 実施予定	①実施する (継続)	説明 (その他の場合)	
実施内容 (当初計画)	学校支援向上事業「まきっ子塾」・・・学習習慣や生活習慣を身につけるとも大切な時期でもある小学校1年生から3年生を対象に、児童の基礎学力の向上や家庭学習の定着を目的に、水曜日の放課後1時間程度、在籍学校の空き教室等を利用して、学習アドバイザーが宿題や自習活動の支援を行っています。					
取組独自の指標	指標①	親が「まきっ子塾」に子どもが参加してとても良かったまたは、良かったと答えた割合			2017年度 (H29年度) 目標 (値)	85
	指標②				2017年度 (H29年度) 目標 (値)	
予算計上時期	当初	当初	補正	説明 (補正のある場合等)		
		8,259				

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度		2017年度 (H29年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (予算)	2018年度 (H30年度) (予定)	2019年度 (H31年度) (予定)	備考
		2018年度 (H30年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (決算見込)	2018年度 (H30年度) (予算)	2019年度 (H31年度) (予定)	
コスト	事業費	学校支援向上事業「まきっ子塾」	4,201	8,259	8,249	8,249	
			4,201	4,214	8,249	8,249	
	総事業費		4,201	8,259	8,249	8,249	累計 (前年度時点) 28,958
			4,201	4,214	8,249	8,249	累計 (今年度時点) 24,913
2017年度 (H29年度) 実施結果		実施状況	①当初の計画通りに実施した				
		説明 (「実施状況」で①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載するもの)					

同施策における取組内容	総合戦略記載担当課	KPI	2015年度 (H27年度) (基準値)	2016年度 (H28年度) 実績値	2017年度 (H29年度)		2018年度 (H30年度) 目標値	2020年 (H32年) (最終目標値)
					予定値	実績値		
★学習支援教室の開催	★社会教育課	勉強が好き・よくわかる子どもの割合	【小学6年】 ○国語56.7% (県61.4%) ○算数66.3% (県62.8%) 【中学3年】 ○国語51.3% (県56.5%) ○数学59.0% (県53.2%)	【小学6年】 国語55.2% (県58.7%) 算数61.2% (県63.2%) 【中学3年】 国語54.6% (県56.2%) 数学55.0% (県53.6%)	県平均を目指す	【小学6年】 国語57.4 (県58.5) 算数63.3 (県63.9) 【中学3年】 国語49.2 (県56.7) 数学57.1 (県54.6)	県平均を目指す	★県平均以上

3. 学習支援教室の開催

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①	親が「まきっ子塾」に子どもが参加してとても良かったまたは、良かったと答えた割合	実績（値）	94
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 ・「まきっ子塾」の児童参加人数の実績は 上牧小学校53名・上牧第二小学校52名・上牧第三小学校61名 合計166名です。 ・年度末に保護者と児童に対し、アンケートを実施し、おおむね高評価をいただきました。家庭学習の習慣に効果があったと考えております。児童向けのアンケート結果では、『学校の勉強とは違うことも教えてくれるので楽しい。』『学校の宿題が最後までできるようになった。』『もっといっぱい勉強したい』など、学習への意欲を高めることができました。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 ・「まきっ子塾」参加人数は166名で、保護者向けのアンケート結果で、『もっと回数を増やしてほしい』・・・47.5% 『もっと時間を増やしてほしい』・・・20.2% 『4～6年生もしてほしい』・・・13.1%など、事業内容に関して、回数や対象学年の拡大等の要望は増えています。			
	事業の分析・評価の根拠及び理由 ・「まきっ子塾」は小学校1年生から3年生を対象に児童の学力向上や家庭学習の定着のため、町が取り組むべき事業です。 ・「まきっ子塾」において、安全確保が重要であると考えます。特に、児童に関しては、開塾日の当日朝に参加確認カードを提出いただき、出欠状況を確認に把握しています。「まきっ子塾」終了後には、児童達だけの下校は認めず、保護者の方にお迎えに来ていただいています。また学童保育利用の児童は、「まきっ子塾」の教室から学童保育の教室までアドバイザーが送迎を行っています。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 ・「まきっ子塾」は小学校1年生から3年生を対象に児童の学力向上や家庭学習の定着のため、町が取り組むべき事業です。 ・「まきっ子塾」において、安全確保が重要であると考えます。特に、児童に関しては、開塾日の当日朝に参加確認カードを提出いただき、出欠状況を確認に把握しています。「まきっ子塾」終了後には、児童達だけの下校は認めず、保護者の方にお迎えに来ていただいています。また学童保育利用の児童は、「まきっ子塾」の教室から学童保育の教室までアドバイザーが送迎を行っています。			
	事業の分析・評価の根拠及び理由 ・「まきっ子塾」は小学校1年生から3年生を対象に児童の学力向上や家庭学習の定着のため、町が取り組むべき事業です。 ・「まきっ子塾」において、安全確保が重要であると考えます。特に、児童に関しては、開塾日の当日朝に参加確認カードを提出いただき、出欠状況を確認に把握しています。「まきっ子塾」終了後には、児童達だけの下校は認めず、保護者の方にお迎えに来ていただいています。また学童保育利用の児童は、「まきっ子塾」の教室から学童保育の教室までアドバイザーが送迎を行っています。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 ・年々児童の数が減少していることや、安全性を考えて必ず保護者の迎えがいることで、参加人数の増加は見込めませんが、対象学年に関しましては、これからも小学1年生～3年生までの枠組みで運営していく方向です。 ・安全面に関しては今まで通りに、事故があってはならないので、必ず保護者のお迎え、学童保育所までの送迎で、児童の安全を確保していきます。 ・一人でも多くの児童に参加してもらうための工夫が必要であると考えます。			
	事業の分析・評価の根拠及び理由 ・年々児童の数が減少していることや、安全性を考えて必ず保護者の迎えがいることで、参加人数の増加は見込めませんが、対象学年に関しましては、これからも小学1年生～3年生までの枠組みで運営していく方向です。 ・安全面に関しては今まで通りに、事故があってはならないので、必ず保護者のお迎え、学童保育所までの送迎で、児童の安全を確保していきます。 ・一人でも多くの児童に参加してもらうための工夫が必要であると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		・「まきっ子塾」は、平成28年9月から始まり、今後も、家庭学習の支援や家庭の負担軽減を目的に取り組んでいきます。放課後に「まきっ子塾」で楽しく学習することによって、勉強が好きになってもらうことになり、学力の向上につながっていくと考えますので、引き続きスムーズに運営できるよう課題解決を図りながら取り組んでいく方針です。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		・引き続き「まきっ子塾」は、学習習慣や生活習慣を身につけるとも大切な時期でもある小学校1年から3年生までの、児童の基礎学力の向上や家庭学習の定着を目的に、水曜日の放課後1時間程度、小学校1年生から3年生を対象に、在籍学校の空き教室等を利用して、学習アドバイザーが宿題や自主学習の支援を行っています。 ・一人でも多くの児童に参加してもらうために、募集チラシの工夫、学童保育利用者への説明会等福祉課（現：こども支援課）との連携を図ります。		

4.様々な専門講座の開催

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 青少年に体験したことのない内容を学習する機会をつくる目的で実施しました。講師は、町内在住の教育学部の大学教授をお招きし、理科の実験を主に行いました。子どもたちは、未体験の分野でも積極的に体験することにより、楽しさを学んでもらえたように思います。 第1回 光のふしぎを体験しよう（小学1・2年生・未就学児）保護者同伴・・・17組20人 （内容） 光の種類を学び、万華鏡作り 第2回 化学反応で遊ぼう（小学3・4年生）保護者同伴・・・16組34人 （内容） 液体窒素を使って色々な実験、また液体を混ぜて色の変化を体験、スライム作り 第3回 磁石のふしぎを体験しよう（小学5・6年生）・・・9人 （内容） 磁石や電流がつくる磁界のはたらきを学び、電磁石を利用した「いろいろ棒」作り			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input checked="" type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 社会環境の変化にあった、普段あまり体験できないような個々の能力（数学・理科・歴史、英語等）を伸ばす専門的な体験講座の開催が求められています。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 町全体で学力向上目指すものであるため、町関与の必要性があります。 また、小学4年生まで対象の事業は、会場までの安全確保が必要であるため、保護者同伴で参加していただきました。保護者と一緒に参加してもらうことにより、保護者に各段階に沿った学習姿勢や家庭教育の重要性について伝える機会ができたように思われます。 また、理科の実験等を行うので、実施中の事故等を配慮する必要があります。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 平成28年度から「子ども体験学習事業」を実施していますが、平成29年度は広報活動に工夫しました。まず、参加したいと思えるような募集チラシ作りを行い、町内公立幼稚園・小学校に協力依頼し募集学年に募集チラシを配布して周知を図った結果、参加人数が増加しました。 今後、参加児童がどのような講座に興味や参加意欲があるのか調査する必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		今後も引き続き、子ども体験学習事業を通して、青少年に様々な活動や学習の機会を提供する予定です。 子どもたちが未体験の分野について、実際に体験してみると楽しいと感じても、教室に参加しようという気持ちが沸きにくいようなので、事前にその楽しさを伝える広報活動が大切だと感じます。 今後は、参加者にアンケート等で要望を把握していく必要があると考えます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度も引き続き、理科の実験を主に事業を行います。平成30年度は全4回実施予定で、内2回は未就学児～小学4年生を対象に、2回は小学5・6年生を対象に実施します。 参加者にアンケート等で要望を把握していく予定です。		

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

担当部	教育部	事業年度	平成29年度	総合戦略掲載ページ	【57ページ】
担当課	社会教育課	担当係	生涯学習推進係	関連部局	

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	①教育・子育て環境を整えプライベートと仕事の両立を支援する				
	基本的方向	①地域による教育・子育て環境の充実				
	施策	①子どもの学力向上支援				
	取組内容	⑤スポーツ教室や野外活動教室の開催				
実施の予定・計画	2016年度 (H28年度) 終了時点	②実施済み (継続)	2017年度 (H29年度) 実施予定	①実施する (継続)	説明 (その他の場合)	
実施内容 (当初計画)	<p>青少年の健全な育成を目的に、毎年、「ジュニアリーダー研修」を実施しています。元々は、地域の子ども会で高学年の児童にグループを指導する力を身につけてほしいというリーダー養成を目的に、約30年前に、対象は小学5年生以上で始めました。事業内容は、夏に宿泊研修を国立曽爾青少年自然の家で実施し、キャンプファイヤーや野外炊飯等の活動を行っています。その他の研修では体験学習・ハイキングやネイチャーゲームを行っています。</p> <p>また、平成29年度から「子どもウォーキング」を実施しています。上牧町スポーツ推進委員と協力し、自然にふれあいながらウォーキングを行っています。平成29年度は、平成榛原子どもの森で実施する予定です。</p>					
取組独自の指標	指標①	ジュニアリーダー研修生数 (上級) 高校生以上			2017年度 (H29年度) 目標 (値)	5
	指標②	ジュニアリーダー研修生数 (初級) 5・6年・中学生			2017年度 (H29年度) 目標 (値)	30
予算計上時期	当初	当初	補正	説明 (補正のある場合等)		
		728				

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度		2017年度 (H29年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (予算)	2018年度 (H30年度) (予定)	2019年度 (H31年度) (予定)	備考	
		2018年度 (H30年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (決算見込)	2018年度 (H30年度) (予算)	2019年度 (H31年度) (予定)		
コスト	事業費	ジュニアリーダー研修	391	728	728	728		
		子どもウォーキング	391	550	728	728		
	総事業費	累計 (前年度時点)	391	728	728	728		2,575
		累計 (今年度時点)	391	550	728	728		2,397
2017年度 (H29年度) 実施結果		実施状況	①当初の計画通りに実施した					
		説明 (「実施状況」で①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載するもの)						

同施策における取組内容	総合戦略記載担当課	KPI	2015年度 (H27年度) (基準値)	2016年度 (H28年度) 実績値	2017年度 (H29年度)		2018年度 (H30年度) 目標値	2020年 (H32年) (最終目標値)
					予定値	実績値		
★スポーツ教室や野外活動教室の開催	★社会教育課	野外活動教室の開催回数	【1回】	2回	3回	3回	3回	3回
○野外活動教室内訳			○KPI内訳					
ジュニアリーダー研修 前年実績 1回 予定値、実績値、目標値、最終目標値 2回			一泊キャンプ 前年実績、予定値、実績値、目標値、最終目標値 1回					
子どもウォーキング 前年実績、予定値、実績値、目標値、最終目標値 いずれも1回			その他野外活動 前年実績 1回 予定値、実績値、目標値、最終目標値 2回					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①	ジュニアリーダー研修生数（上級）高校生以上	実績（値）	7
	取組独自の指標②	ジュニアリーダー研修生数（初級）5・6年・中学生	実績（値）	35
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
「ジュニアリーダー研修」 単年度で考えると、子ども達に野外活動等の色々な体験の機会を持たせることができました。また、約30年前のジュニアリーダーの1期生が、現在、奈良県のボランティア協会で指導を行い、上牧町においても、指導員としてジュニアリーダーを指導しています。 平成29年度ジュニアリーダー研修（全8回） 登録人数 上級リーダー7名・中学生4名・小学生31名 第1回～3回 オリエンテーション・レクリエーション・ゲーム・歌唱指導を実施 第4回 宿泊研修（国立曽爾青少年自然の家） キャンプファイヤー・野外炊飯等の活動 第5回 手話について学習（手話サークル協力） 第6回 上牧町内歴史散策（上牧銅鐸・浄安寺・上牧久渡古墳群） 第7回 クリスマス会を実施 第8回 年間活動反省会 「子どもウォーキング」 平成榛原子どもの森公園で実施し、ウォーキングを中心に自然と触れ合いながら、オリエンテーリングを行いました。対象者は小学1～6年生(小学1～3年生保護者同伴)で、22名参加しました。参加者からは、屋外で体を動かす機会ができ、充実した日を過ごせたとのことでした。				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input checked="" type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
「ジュニアリーダー研修」 小学校5年生で新規募集を行いますが、小学校卒業と同時に辞めてしまう子どもが多数います。近年は子ども会が縮小され、従来のリーダー養成についての評価が難しいですが、子どもが集団活動を経験することは、社会的意義が高く、社会的役割を担うような人物を養成する働きもあると考えます。 また、野外活動でテント生活に少しでも慣れておくことは、災害時の観点からも求められています。 「子どもウォーキング」 子どもが自主的に屋外で野外活動をすることが少ないので、保護者から求められています。				
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
体験学習事業を行うので、安全管理面で監督・指導が必要であると考えます。				
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
「ジュニアリーダー研修」 子ども会が縮小された現在、地域のリーダーとしてのみならず、現代社会の環境に合ったリーダーや、社会的役割を担うような人物の養成を行うような工夫が必要だと考えます。 「子どもウォーキング」 ウォーキングだけでなく屋外で様々な体験ができるよう、スポーツ推進委員の協力を得ながら、創意工夫を図って行く余地があります。				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		「ジュニアリーダー研修」 単年度で考えると、子ども達に野外活動等の色々な体験の機会を持たせることができたので、今後も継続して行っていきたいと考えます。 ジュニアリーダーの経験者が成人して、現ジュニアリーダーを指導・育成しているというようなサイクルが今後も継続していくように、また、そのような人物を育成できるように取り組んでいきたいと思います。 「子どもウォーキング」 ウォーキングだけでなく軽スポーツを取り入れるなど創意工夫を行い、引き続き実施していく方針です。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		「ジュニアリーダー研修」「子どもウォーキング」の2事業とも、前年度参加者の意見を取り入れながら、継続して取り組んでいきます。		

6.学校を中心としたコミュニティ網の形成

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①	コーディネーター会議	実績（値）	3
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
<p>コーディネーターは各小中学校・幼稚園に1名ずつ配置され合計6名おり、コミュニティ網が形成されています。小中学校・幼稚園コーディネーター同志で、全体で年に3回、問題解決する会議を行い、連携が取れるようになってきました。</p> <p>例えば、環境支援で元大工で修理が得意なボランティアや花壇の整備が得意なボランティアを、コーディネーター同志の連携により、他の小中学校や幼稚園にも活動に参加してもらえるようになりました。</p> <p>またコーディネーターには県主催の研修に積極的に参加していただきました。</p> <p>コーディネーターの活動時間 上牧小学校143時間・上牧第二小学校192時間・上牧第三小学校103時間 上牧中学校67時間・上牧第二中学校37時間・上牧幼稚園34時間</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
<p>コーディネーターの方々はボランティア活動の各種調整のほか、学校やボランティアとの連絡や調整、地域の協力者の確保等を行っています。地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図るためには、コーディネーターの存在が必要不可欠であり、地域の様々な関係者を良好な関係を保ち、定期的な連絡調整を行い、子どもたちの健全育成に情熱を持ってくれていますので、ますます重要な人材になると考えます。</p>				
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
<p>地域で学校を支える事業であり、安全確保等を含め町の関与が必要です。</p>				
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
<p>ボランティア活動は大きく分けて、学習支援・図書支援・環境支援があります。学校側との要望のバランスがとれるようなボランティアの配置が必要であり、欠員の補充のためにボランティアの募集への働きかけも必要であると考えます。</p>				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		<p>学校側と地域側のバランス調整や学校ごとの異なる欠員の補充等の課題はありますが、今後も引き続き、学校・コーディネーター・支援ボランティアと密な連携を図り、地域ぐるみで学校教育の充実と活性化に取り組みます。</p> <p>欠員補充のためには、ボランティアの募集の方法に工夫が必要だと考えます。従来は広報かんまきに募集チラシを折り込みしていましたが、今後は各学校の新入生説明会時や各自治会の会議などのときに、こちらから出向いて説明を行い、新規のボランティアを集めていく取組を行っていく方針です。</p>		
2018年度（H30年度） 取組予定		<p>平成30年度も引き続きコーディネーターの会議を行い、連携を図って行きたいと考えます。</p>		

7.子育てにおける様々なコミュニティ形成プログラムの企画・運営

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
・上牧町学校・地域パートナーシップ事業は、学校支援ボランティアが224名登録され、図書支援・環境支援・登下校見守り支援・授業支援等を行っています。また各学校でボランティア交流会が行われ、ボランティア同士も親睦が深められ地域交流が図られています。 ・平成29年度ボランティア登録数 上牧小学校77名・上牧第二小学校82名・上牧第三小学校50名・上牧中学校26名・上牧第二中学校50名・上牧幼稚園21名 （1名で複数校登録しているボランティアあり） ・年間ボランティア活動実績（のべ数） （幼稚園・小学校）放課後学習12日28人・学習支援139日403人・図書支援108日263人・環境支援68日394人 子どもの見守り405日4369人・学校行事の運営支援29日158人 （中学校）放課後学習17日35人・学習支援35日46人・図書支援197日426人・環境支援61日261人				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	・学校支援ボランティアは、地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図るためのものであり、今後も様々なニーズが求められます。 ・平成29年度は学校・コーディネーター・ボランティアの連携により、新規の学習支援や更なる内容の充実を図ることができました。 上牧小学校・・・学習支援（生活科支援 藍染め学習のサポート） 上牧第二小学校・・・環境支援（マラソンコースの草刈り） 上牧第三小学校・・・図書支援（おはなし会） 放課後支援（内科検診のサポート） 上牧中学校・・・放課後学習支援の充実 上牧第二中学校・・・図書支援の充実 上牧幼稚園・・・学習支援（バケツ稲作りサポート）			
	・学校支援ボランティアは、地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図るためのものであり、今後も様々なニーズが求められます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	地域で学校を支える事業であり、安全確保等を含め町の関与が必要です。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	ボランティア活動は大きく分けて、学習支援(授業の補助)・図書支援・環境支援があります。学校側は、主に学習支援を希望していますが、地域側は環境支援を希望する人が多数です。学習支援のボランティア総人数の絶対数はありますが、学校によってはその学習支援が必要ではなく、他の支援に協力していただいている場合もあります。要望のバランスがうまくとれるようなボランティアの配置が必要であり、欠員補充のためにボランティアへの働きかけも必要であると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況	⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
		説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小	
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小	
今後の取組方針	・上牧町学校地域パートナーシップ事業は、地域コーディネーターとボランティアと密な連携を図り、地域ぐるみで学校教育の充実と活性化に取り組んでいく方針です。		
2018年度（H30年度） 取組予定	・上牧町学校・地域パートナーシップ事業は、平成29年度に引き続き実施予定です。ボランティアの方々に、特技や趣味等を生かして学校の教育活動に協力していただけるように、各学校園のコーディネーターが、ボランティアの配置・調整、学校と連携を図っていきます。		

8.すべての学習活動を道徳教育や人権教育を意識し推進

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
<p>・人権教育関係団体への助成により、それぞれの研修会・交流会・研究大会へ教職員が参加し、研究を深めました。</p> <p>・人権図書、人権資料、人権作文集等を購入し、各校園の研修、実践に役立てました。</p> <p>・ヒューマンライツセミナー-IN上牧（11/6）を実施し（35名）、2/26には、指導者研修会として、フィールドワーク（天理市）を実施しました（20名）。</p> <p>・人権作文、人権ポスター、標語の募集を各小中学校に行いました。</p> <p>・町独自の研修のみならず、県・郡人権教育推進協議会が開催する人権教育・道徳教育の研修にも積極的に参加しました。</p> <p>・全国人権・同和教育研究会が主催する研究大会には、年に2回、北葛城郡4町で参加しました。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	<p>H28年度に、人権三法（障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法）が施行され、行政として、差別をなくすための施策と行動をさらに充実させなければならない責任が増してきています。</p> <p>インターネットによる差別書き込みやSNSによる差別扇動、庁舎の窓口への「同和地区問い合わせ」など、差別の形態が変化してきており、それに対応した取組や、組織づくりが求められています。</p>			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	<p>法施行により、啓発の分野での役割が明確化されたこと、「差別解消を目的とすること」が明確化されたことから、町行政、地域・教育との連携が、さらに求められています。</p>			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	<p>人権啓発関連事業が社会教育課に移行することになり、さらに人権教育の実施に関する内容が増加していくと考えられます。人権教育と人権啓発を両輪として、役割や事業の整理など、関係・連携を考えていきたいと考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		<p>人権三法が施行された現状を考えると、さらに取組を充実させることが求められています。すぐれた講師の招聘や研修の機会の拡大と増員等を図りながら、人権教育を推進していきたいと考えます。</p> <p>また、啓発と人権教育推進を両輪として進めて行く方向を探っていきたいと考えます。</p>		
2018年度 (H30年度) 取組予定		<p>○「ヒューマンライツセミナー」「指導者研修会」の実施。</p> <p>○郡人推連協はじめとして、関係機関の研修会への積極的な参加を推進します。広報での参加呼びかけや、ちらし作成配布などを通じて、参加者増を目指します。</p> <p>○学校での学習指導において、道徳教育や人権教育を意識した指導を行います。そのために、人権ポスター・標語募集に関する取組を進めます。また、人権教育・道徳教育資料の充実等を図ります。</p>		

9.子どもの読書活動の推進

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 読書活動を続けていくことで、本に親しみを持つことができ、集中力が身につく、子どもたちは落ち着いて学校生活を過ごしています。また、読書が、子どもたちの興味・関心の幅が広がるきっかけとなっています。図書館司書や図書ボランティアの方の活動を通じて、子ども達が新しい本を知ること、より一層本に関心をもつようになりました。本を読むことで、多面的に物を見る力がついたり、じっくりと物考える力が養われたという点で概ね目標の成果が得られたと考えます。また、学校からは、「朝に読書活動を行うと集中力が高まり、1限目の授業に入りやすい」との声を聞いています。			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input checked="" type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 読書活動を朝に行うことで、本に親しみや興味をもち、落ち着いた生活習慣が保てています。また、小学校ではボランティアの協力のもと、多目的室を利用し、「絵本の広場」という児童が読書を楽しむ行事を定期的実施し、読書の習慣付けを行っています。子どもたちに良い習慣がついてきているため、保護者や教師もこの習慣を続けていくことが必要であると考えています。			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 子どもが本を好きになるため、そのきっかけづくりとなるサポートや町民の方々に図書ボランティアの活動を知っていただき、関与していただける機会の提供を行っていきたく考えます。また、子どもの読書活動の推進のため、学校や図書館等と連携を強化し、必要な体制の整備に努めなければならないと考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 読書活動を朝に行うことで、子どもたちは落ち着いて学校生活を過ごしています。読書の習慣も身につけてきているので、今後も引き続き実施していきますが、より子どもたちに、読書活動を定着させるために、さらに効果があがる方法を検討しながら継続していきたいと考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		子どもが本を好きになるきっかけづくりを目指します。現場から、「子どもに良い習慣がついてきて、朝に本を読むことで落ち着いた生活習慣を保っている」という声を聞きますので、引き続き、読書活動をさらに展開、実施していけるよう取り組みます。		
2018年度（H30年度） 取組予定		引き続き、朝の10分間を読書時間とし、児童生徒のさらなる読書の習慣付けに取り組む予定です。また、図書館司書や図書ボランティアの方との交流も続けます。		

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

担当部	住民福祉部	事業年度	平成29年度	総合戦略掲載ページ	【58ページ】
担当課	こども支援課	担当係	児童福祉係	関連部局	

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	①教育・子育て環境を整えプライベートと仕事の両立を支援する				
	基本的方向	①地域による教育・子育て環境の充実				
	施策	③地域ぐるみの子育て支援				
	取組内容	①情報交換拠点の整備				
実施の予定・計画	2016年度 (H28年度) 終了時点	②実施済み (継続)	2017年度 (H29年度) 実施予定	①実施する(継続)	説明 (その他の場合)	
実施内容(当初計画)	<p>乳児又は幼児及びその保護者が相互に交流を行う場所を提供し、子育てについての相談・情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを推進することを目的とするものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2000年会館やアピタ内ささゆりルームにて以下のとおり実施します。 【子育て親子の交流の場の提供と交流の促進】 ・子育て中の孤立の軽減や社会参加のきっかけ作りとしての『おひさま広場』 ・親子のくつろぎの空間と時間を提供する『サロンぽけっと』 ・より多くの親子が集える『サロンぽけっと』での誕生日会などの企画開催 ・おひさま広場での親子遊びの実施 【子育て及び子育て支援に関する講習等の実施】 ・『おひさま広場』、『サロンぽけっと』での子育て講演や講習会の実施 					
取組独自の指標	指標①				2017年度 (H29年度) 目標(値)	
	指標②				2017年度 (H29年度) 目標(値)	
予算計上時期	当初	当初	補正	説明 (補正のある場合等)		
		4,540				

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度		2017年度(H29年度)時点	2016年度(H28年度)決算	2017年度(H29年度)予算	2018年度(H30年度)予定	2019年度(H31年度)予定	備考
		2018年度(H30年度)時点	2016年度(H28年度)決算	2017年度(H29年度)決算見込	2018年度(H30年度)予算	2019年度(H31年度)予定	
コスト	事業費	委託料	4,540	4,540	4,540	4,540	
			4,540	4,540	4,540	4,540	
	総事業費		4,540	4,540	4,540	4,540	累計 (前年度時点) 18,160
			4,540	4,540	4,540	4,540	累計 (今年度時点) 18,160
2017年度(H29年度)実施結果		実施状況	①当初の計画通りに実施した				
		説明 (「実施状況」で①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載するもの)					

同施策における取組内容	総合戦略記載担当課	KPI	2015年度(H27年度)基準値	2016年度(H28年度)実績値	2017年度(H29年度)		2018年度(H30年度)目標値	2020年(H32年)最終目標値
					予定値	実績値		
★情報交換拠点の整備	★福祉課	つどいの広場・おひさま広場のサロン総利用者数	5,800人	5,086人	5,136人	4,386人	5,607人	8,000人
				つどいの広場 大人 1,039人 子ども 1,453人 合計 2,492人	おひさま広場 大人 460人 子ども 460人 合計 920人	地域サロン 大人 75人 子ども 96人 合計 171人	つどいの広場 (アピタサロンぽけっと) 大人 360人 子ども 443人 合計 803人	総合計 大人 1,934人 子ども 2,452人 合計 4,386人

10.情報交換拠点の整備

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 つどいの広場の相談件数については、平成29年度は8件増加となっております。各年度でのKPI（利用者人数）の目標数値については、幼稚園入園前の未就園児クラスでの子育て教室・親子広場・育児相談の週4日程度の開催や、保護者同士による自主的なサークル（英語など）及び専業主婦が少なくなり保育所の入所増加等により下回る結果となりましたが、2000年会館や出張ひろばとしてアピタ内にあるささゆりルームにて、つどいの広場・おひさま広場・地域サロン・つどいの広場（アピタサロンぽけっと）を開設し子育て親子の交流の場の提供と交流を促進、子育て及び子育て支援に関する講習等を実施したことにより、事業内容及び取組み(事業)等については、概ね目標の成果が得られているととらえております。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 事業の取組みについては、一定の評価を得ているものと判断しております。平成30年度に予定している子ども・子育て支援事業計画によるアンケート調査をもとにニーズの掘り起こしを行い、サービス内容、開催場所及び開催日程等を視野に入れニーズの方向性を見定めたいと考えておりますが、社会環境の変化等により全体的な子育て支援のニーズは増加する方向にあると考えます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 地域ぐるみでの子育て支援、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整備する趣旨から収益性を目的とする取組み（事業）では無いため、民間の実施は難しく、町の関与が不可欠であると考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 平成30年度に予定している子ども・子育て支援事業計画によるアンケート調査の結果をもとに、サービスの内容等を見直す余地があるものと考えていますが、調査期間を含め、結果を得るまでにある程度の時間が必要となります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
		説明 (見通しが「その他」の場合)		
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		事業の取組みは、現状のまま継続しますが、平成30年度に実施予定のアンケート調査（子ども・子育て支援事業計画）をもとにニーズの掘り起こしを行い、見直しをかけて目標を達成できるように取り組みたいと考えています。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		乳幼児をもつ親とその子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い交流を図ることや、ボランティアを活用して育児相談などを行う場の提供と交流を促進します。具体的な取組みとして、2000年会館やアピタ内にあるささゆりルームにて、つどいの広場・おひさま広場・つどいの広場（アピタサロンぽけっと）を開催し、子育て親子の交流の場の提供と子育て支援に関する講習等を実施します。また、平成30年度に予定のアンケート調査（子ども・子育て支援事業計画）をもとにニーズを検討し、見直しをしていく方向で考えています。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
保護者の方の子育てや就労を支援するために預かり保育を実施しました。また保護者の子育てのストレス緩和もできました。 ・預かり保育利用回数 平成28年度 888回 平成29年度 1,639回 伸び率 84.6% 1回200円 ・入園者数 平成28年度 55人 平成29年度 64人 伸び率 16.4%				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	預かり保育の実施については、保護者の方に時間的余裕ができるといった効果により、仕事に意欲がでる方がおられることがわかりました。 預かり保育を利用する保護者の方からのニーズ ・利用時間の延長 ・利用時期（夏期休業、冬期休業）			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	町立の幼稚園の整備を行うことで、町全体の子育て支援の推進を図り、若い子育て世代の移住につなげたいと考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	今後は、利用時期の拡大として、夏期休業中の預かり保育を実施する方向で見直しを行います。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		特色のある公立幼稚園として魅力をPRし、上牧町の子育て支援の基幹とすることにより、若い子育て世代の移住増加につなげたいと考えます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		現行の「預かり保育」に加えて、夏期休業中の「預かり保育」も実施する予定です。		

12.乳幼児子ども防災意識向上事業の実施

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		①平成27年度実施済み	事業実施等の見通し	③平成30年度において事業実施予定
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		乳幼児子ども防災意識向上事業は、各自治会に補助することで、自治会において備蓄備品を確保していただきました。町としても備蓄備品の確保につきましては、計画的に進めております。今後は、町全体、各自治会の備蓄備品の状況を踏まえて進めていきたいと考えています。		
2018年度（H30年度） 取組予定		平成30年度は、粉ミルクの購入を考えています。 町立保育所及び幼稚園に防災訓練（シェイクアウト訓練など）参加促進の呼び掛けを考えています。 ペガサスフェスタで乳幼児救急教室（AED、心臓マッサージなど）を検討しています。		

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

担当部	教育部	事業年度	平成29年度	総合戦略掲載ページ	【58ページ】
担当課	教育総務課	担当係	学校教育係	関連部局	

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	①教育・子育て環境を整えプライベートと仕事の両立を支援する				
	基本的方向	①地域による教育・子育て環境の充実				
	施策	④就業前教育の充実				
	取組内容	①英語教育の充実				
実施の予定・計画	2016年度 (H28年度) 終了時点	②実施済み (継続)	2017年度 (H29年度) 実施予定	①実施する (継続)	説明 (その他の場合)	
実施内容 (当初計画)	グローバル化に少しでも幼いうちから慣れ親しめるように、英語を母国語とし、ある程度日本語の会話が可能な日本滞在の外国人講師を定期的に招き、一緒に英語の歌を歌ったり、ダンスをします。そのほかにも英語による簡単な指示 (jumpとかturnなど) に合わせて体を動かしたりするなど「英語を使って楽しむ」というコツに重点を置き、簡単な挨拶や自己紹介を英語でやってみるなど、日常的な英会話に触れることを目的に英語教育を実施します。					
取組独自の指標	指標①				2017年度 (H29年度) 目標 (値)	
	指標②				2017年度 (H29年度) 目標 (値)	
予算計上時期	当初	当初	補正	説明 (補正のある場合等)		
		1,814				

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	2017年度 (H29年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (予算)	2018年度 (H30年度) (予定)	2019年度 (H31年度) (予定)	備考
	2018年度 (H30年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (決算見込)	2018年度 (H30年度) (予算)	2019年度 (H31年度) (予定)	
コスト 事業費	委託料	1,814	1,814	1,814	1,831	
		1,814	1,814	1,814	1,831	
総事業費		1,814	1,814	1,814	1,831	累計 (前年度時点) 7,273
		1,814	1,814	1,814	1,831	累計 (今年度時点) 7,273
2017年度 (H29年度) 実施結果	実施状況	①当初の計画通りに実施した				
	説明 (「実施状況」で①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載するもの)					

同施策における取組内容	総合戦略記載担当課	KPI	2015年度 (H27年度) (基準値)	2016年度 (H28年度) 実績値	2017年度 (H29年度)		2018年度 (H30年度) 目標値	2020年 (H32年) (最終目標値)
					予定値	実績値		
★英語教育の充実	★教育総務課	英会話教室及び体育教室の開催数	【32回】	46回	46回	46回	47回	60回
★KPI【英会話教室及び体育教室 (46回)】の内訳★								
○「英会話教室」 35回								
○「体育教室」 11回								

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 英語の歌を歌ったり、ダンスをするなどして「英語を使って楽しむ」という当初の目的も達成できています。また、受動的に英語に触れるだけではなく、簡単な英語で表現したり、挨拶や自己紹介を英語でできるようになってきています。概ね月1～2回 年中・年長40分、年少30分間（10月～）行いました。授業内容は挨拶から始まり、その後、英語で歌を歌ったり、ゲームをすることなどで、幼児の興味、関心がさらに高まってきています。（1日1学年実施） 年少：60人 火曜日（月に1～2回） 年9回実施【年少は10月から実施】 年中：45人 火曜日（月に1～2回） 年13回実施 年長：61人 金曜日（月に1～2回） 年13回実施			
ニーズの方向性	1nichi	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 対象が幼児ということもあり、大人に比べ英語に耳が慣れるのも早いと思われます。また、毎回、講師が歌っている英語の歌については、一緒に歌える園児もいるほどで、子ども自身が楽しみながら英語を身につけられています。英語教育の重要性については保護者も強く感じているところであり、英語教育のさらなる充実を求める声が聞かれます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 英語教育の重要性が言われてはいても、日常生活で外国人と触れ合える機会はまだまだ少ないと思われます。しかし、前述のとおり、近いうちに英語教育が教科化され、英語の重要性は高まる一方で、幼稚園での英語教育の実施は保護者からも強く求められています。民間の英語教室などもありますが、園児の保護者も仕事を持たれる方が増えていること、また経済的な理由などで通うのが難しい場合もあり、幼稚園教育の一環として、英語教育においても、ニーズを考慮した事業実施が必要と考えられます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 日本語であっても自己の気持ちを正確に表現することが難しい幼児が対象であることから、当事者である園児の希望を正確にくみ取ることが難しく、成果の見極めが困難なのが実情です。数値に示されるような成果は出にくいですが、子どもの様子や表情に目を配り「英語に親しむ」という一番の目的をより達成できるようにしたいと考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
		説明 (見通しが「その他」の場合)		
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		取り組んでいる英語の歌やダンスを中心とした、遊びながらの自然と身につく英語教育に引き続き取り組んでいく予定です。今後ますます進んでいくグローバル化に少しでも幼少期から慣れ親しめるように、日本滞在の外国の方を招いて園でのイベントなどを一緒に行うなど、今まで以上に日常的に英語に触れることを目的に進めていきたいと考えます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度においても、引き続き簡単な挨拶や自己紹介を英語でやってみるなど、日常的な英会話に触れることを目的に英語教育を実施する予定です。		

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

担当部	教育部	事業年度	平成29年度	総合戦略掲載ページ	【58ページ】
担当課	教育総務課	担当係	学校教育係	関連部局	

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	①教育・子育て環境を整えプライベートと仕事の両立を支援する				
	基本的方向	①地域による教育・子育て環境の充実				
	施策	④就業前教育の充実				
	取組内容	②体育教育の充実				
実施の予定・計画	2016年度 (H28年度) 終了時点	②実施済み (継続)	2017年度 (H29年度) 実施予定	①実施する (継続)	説明 (その他の場合)	
実施内容 (当初計画)	「走る」「飛ぶ」「投げる」といった、基本的な運動能力を向上させるために専門家に指導していただきます。専門家の指導のもと、マット運動をするにしても、年少クラスは犬やウサギ、ヘビなどの動物模倣、年中・年長クラスでは横転やサイドステップ・スキップなど、子どもの成長段階に応じた指導を行います。また、肥満や骨折防止及び基礎体力の向上を目指します。					
取組独自の指標	指標①				2017年度 (H29年度) 目標 (値)	
	指標②				2017年度 (H29年度) 目標 (値)	
予算計上時期	当初	当初	補正	説明 (補正のある場合等)		
		165				

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	2017年度 (H29年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (予算)	2018年度 (H30年度) (予定)	2019年度 (H31年度) (予定)	備考
	2018年度 (H30年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (決算見込)	2018年度 (H30年度) (予算)	2019年度 (H31年度) (予定)	
コスト 事業費	委託料	165	165	180	182	
		165	165	180	182	
						累計 (前年度時点) 692
	総事業費	165	165	180	182	
		165	165	180	182	累計 (今年度時点) 692
2017年度 (H29年度) 実施結果	実施状況	①当初の計画通りに実施した				
	説明 (「実施状況」で①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載するもの)					

同施策における取組内容	総合戦略記載担当課	KPI	2015年度 (H27年度) (基準値)	2016年度 (H28年度) 実績値	2017年度 (H29年度)		2018年度 (H30年度) 目標値	2020年 (H32年) (最終目標値)
					予定値	実績値		
★体育教育の充実	★教育総務課	英会話教室及び体育教室の開催数	【32回】	46回	46回	46回	47回	60回
★KPI【英会話教室及び体育教室 (46回)】の内訳★								
		○「英会話教室」	35回					
		○「体育教室」	11回					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
運動指導について、適切な指導により、怪我をすることなく安全に、マット運動・鉄棒・跳び箱・縄跳びなどの練習を繰り返したことで、でんぐり返り・逆上がり・跳び箱・縄跳びをできる子がたくさん出てきています。幼稚園での運動教室がきっかけとなり、運動好きになった子どもも多く、毎回園児たちの生き生きとした姿が見られ、運動教室を楽しみにしている子どもがたくさんいます。日常生活では子どもの運動不足を感じている保護者の方もいるので、安全な環境で子どもに適切な運動をさせるという運動教室の目標は達成できていると考えます。月1回 年少30分、年中40分、年長50分間で年齢に沿ったカリキュラムを実施しました。（1日に全学年、学年ごとに実施） 平成29年度実施回数 11回（指導を受けた日数＝回数） 年少：60人 年中：45人 年長：61人				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する方向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	運動が得意な子どもがよりレベルの高い課題に専門家の指導のもとに挑戦することができるだけでなく、運動が苦手な子どもも幼稚園で安全な環境の中、専門家が設定するスモールステップにより適切に指導されることで運動が好きになり、運動習慣が身についていくと考えられます。園で専門の講師に指導してもらえるので、仕事で忙しい保護者や経済的に困難な理由で民間の体育教室に通うことが難しい家庭など、保護者からの事業実施への期待が高まっています。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 必要性が高い <input type="checkbox"/> B. 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C. 必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	公立幼稚園教育の一環として、町の関与は必須であると考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	運動教室は、具体的な成果の見極めは難しいですが、でんぐり返り・逆上がり・跳び箱・縄跳びができる子どもが多くなっています。ただ、全員ができるわけではないので、ジャンプ力をつける・怖さを克服するなどのそれぞれの子どもの課題を解決していけるようなカリキュラムを作ることができればより成果を高めることができると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		引き続き、民間のスポーツ講師に指導していただき、園児の基礎体力の向上を目指します。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度においても、引き続き本事業を継続して実施することを予定としています。また、平成29年度よりも回数を1回増やし、12回実施する予定です。		

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

担当部	住民福祉部	事業年度	平成29年度	総合戦略掲載ページ	【59ページ】
担当課	こども支援課	担当係	出会い・子育て支援係	関連部局	

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	①教育・子育て環境を整えプライベートと仕事の両立を支援する				
	基本的方向	②ライフスタイルの多様化に対応した結婚・出産・子育て支援				
	施策	①結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援				
	取組内容	①婚活イベントの企画・実施				
実施の予定・計画	2016年度 (H28年度) 終了時点	②実施済み (継続)	2017年度 (H29年度) 実施予定	①実施する (継続)	説明 (その他の場合)	
実施内容 (当初計画)	婚活イベントの開催、マリッジサポーターの育成、新規サポーターの募集及び育成を行います。 出会い・結婚応援事業のうち、婚活イベント事業として、年間3回の婚活イベントの実施を予定しています。平成29年11月19日信貴山のどか村BBQイベント参加人数：男女各20名を予定しております。平成29年12月10日「まほろば珈琲」において、クリスマスパーティ参加人数：男女各20名を予定しております。その後サポーターによる、相談支援を継続します。平成30年3月25日（予定）マリッジサポータープロデュースによる婚活イベントの開催を予定しています。かまき未来創造マリッジサポーター育成事業として、サポーターの募集及び周知啓発します。サポーター育成事業として、個人情報の取扱い等のサポーターとしての知識及びイベント体験の実施します。サポーターフォローアップ研修等としてサポーターとしての能力アップ講座を実施します。					
取組独自の指標	指標①				2017年度 (H29年度) 目標 (値)	
	指標②				2017年度 (H29年度) 目標 (値)	
予算計上時期	補正	当初	補正	説明 (補正のある場合等)	町長選挙に伴う骨格予算の為。	
			1,869			

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	2017年度 (H29年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (予算)	2018年度 (H30年度) (予定)	2019年度 (H31年度) (予定)	備考
	2018年度 (H30年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (決算見込)	2018年度 (H30年度) (予算)	2019年度 (H31年度) (予定)	
コスト	報酬	40				
		40				
	旅費					
	需用費	142	200	318	318	
		142	152	318	318	
委託料	1,094	1,669	1,718	1,900		
	1,094	1,669	1,718	1,900		
使用料及び賃借料	45					
	45					
総事業費	1,321	1,869	2,036	2,218	累計 (前年度時点)	7,444
	1,321	1,821	2,036	2,218	累計 (今年度時点)	7,396
2017年度 (H29年度) 実施結果	実施状況	①当初の計画通りに実施した				
	説明 (「実施状況」で①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載するもの)					

同施策における取組内容	総合戦略記載担当課	KPI	2015年度 (H27年度) (基準値)	2016年度 (H28年度) 実績値	2017年度 (H29年度) 予定値 / 実績値		2018年度 (H30年度) 目標値	2020年 (H32年) (最終目標値)
★婚活イベントの企画・実施	★福祉課	婚活イベント事業・縁結び事業による成婚数	【—】				2組	8組

15. 婚活イベントの企画・実施

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 ①平成29年度において、3回の婚活イベントを実施しました。1回目のイベントでは39名（男性20名・女性19名）の参加があり、サポーターのサポートにより参加者同士で14名の方が連絡先の交換をしており、この内後日に会う予定がある方が9名おられました。2回目のイベントでは40名（男性20名・女性20名）の参加があり、6組のカップルが成立しました。3回目のイベントでは、20名（男性10名・女性10名）の参加があり、2組のカップルが成立しており、今後の成果が期待できると判断しております。 ②マリッジサポーター2期生の募集を行ったところ、新たに4名の方にサポーターとなっていただき1期生と合わせて9名のサポーターが誕生しました。サポーターの育成事業として、1期生のサポーターの能力アップを目的とした、サポーターフォローアップ研修を5回実施しました。2期生のサポーターについては、養成講座を5日間実施し8講座の受講をしていただきました。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する方向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 イベントの参加者を募集すると多数の申込みがあり、今後もニーズは増加するものと考えております。婚活イベントでカップルは成立しておりますが成婚には至っておらず、カップル成立後のサポート、支援等が課題と思われれます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 必要性が高い <input type="checkbox"/> B. 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C. 必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 婚活イベントは民間事業者でも実施しておりますが、本趣旨は、結婚希望者が結婚できる支援体制を整備し、少子化晩婚化に歯止めをかけ、上牧町で安心して子どもを産み育てることができるよう結婚・出産・子育てまでの切れ目ない支援サービスの充実を図るとともに、これらの取組みを支援するサポーターを増やし、将来独立した支援団体として活動できるように育成し、結婚の希望をかなえる町全体での機運を醸成するための取組みと位置づけているため、今後も町関与の必要性が高いと考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 同事業において、マリッジサポーターの募集、養成を引続き行い、将来自立した支援団体として活動できるように育成し、イベントだけの出会いではなく、サポーターによるお見合い形式の紹介も実施し、出会いから成婚に向けての支援体制の改善を図ります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		婚活イベントの開催やマリッジサポーターの募集及び育成を引続き行います。サポーターによるお見合い形式の紹介も実施し、出会いから成婚に向けての支援体制を検討していきます。町内店舗とタイアップを図り、本事業趣旨を理解していただいた上で、計画遂行に向けて協力していただき相乗効果を図ることで地域の活性化にもつなげたいと考えております。また町職員を対象としたアンケート調査職員研修の実施も検討しております。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		婚活イベントの開催やマリッジサポーターの募集及び育成を引続き行います。婚活イベント事業としては、町内において3回の婚活イベントを実施予定です。イベントではサポーターには参加者のサポート、個別相談等による支援を行う予定です。サポーターによるお見合い形式の紹介も実施し、出会いから成婚に向けての支援体制を検討していきます。町内店舗とタイアップを図り、本事業趣旨を理解していただいた上で、計画遂行に向けて協力していただき相乗効果を図ることで地域の活性化にもつなげたいと考えております。また町職員を対象としたアンケート調査や職員研修の実施も検討しております。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
平成29年度において、町が開催するペガサスフェスタで啓発活動及び結婚相談窓口を開設しました。結婚を考える男女及びその保護者を対象に結婚相談を実施し3名の方から相談がありました。年間を通してこども支援課においては、総合窓口としてイベントの案内やマリッジサポーターの紹介をしています。				
ニーズの方向性		<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
イベントの参加者を募集すると多数の申込みがあり、今後もニーズは増加するものと考えております。婚活イベントでカップルは成立しておりますが成婚には至っておらず、カップル成立後のサポート、支援等が課題と思われれます。				
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	地域における結婚相談やアドバイスなどは、マリッジサポーター及び協力NPO団体の方が身近な相談相手として、結婚を考える男女または、その保護者を対象として取り組む予定ですが、専門的な知識が必要な場合もあり、しばらくは町及び専門機関の関与が必要であると考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	平成29年度において、町が開催するペガサスフェスタで相談窓口を設置し実施しました。次年度以降については、月1回程度で開催場所または、日時を定め、相談者のデータベース化についても実施する方向で検討しています。（かんまき未来創造マリッジサポーター及びNPO団体が協働し、相談を行います。）			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		平成29年度において、町が開催するペガサスフェスタで相談窓口を設置し実施しました。次年度以降については、月1回程度で開催場所または、日時を定め相談窓口を開設し、結婚を考える男女またはその保護者を対象とした結婚相談相談会を開催します。（かんまき未来創造マリッジサポーター及びNPO団体が協働し、相談を行います。）また、相談者のデータベース化についても検討しています。年間を通してこども支援課においては、総合窓口としてイベントやマリッジサポーターの紹介を行います。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成29年度に実施した事業に加え、月1回程度2000年会館で、日時を定め相談窓口を開設し、結婚を考える男女またはその保護者を対象とした結婚相談相談会を開催します。（かんまき未来創造マリッジサポーター及びNPO団体が協働し、相談を行います。）また、相談者のデータベース化についても検討しています。年間を通してこども支援課においては、総合窓口としてイベントやマリッジサポーターの紹介を行います。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	③平成30年度において事業実施予定
		説明 (見通しが「その他」の場合)		
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		平成30年度から、子育て支援窓口の一元化として福祉課、こども支援課、生き生き対策課を2000年会館に配置し、結婚から出産、育児に係る子育ての利便性の向上が図られると考えられ、関係各担当課と情報共有、連携を行い業務を遂行したいと考えております。		
2018年度（H30年度） 取組予定		平成30年度から機構改革により、子育て支援窓口の一元化として福祉課、こども支援課、生き生き対策課が2000年会館に配置されることにより、どの窓口に来られてもワンストップで対応が可能となりましたので、今後関係各担当課と情報共有、連携を行いながら関係3課によるワンストップ相談を開始します。		

18. マタニティ教室の開催

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①	マタニティ教室参加者の内、夫またはパートナーの参加者延べ人数	実績（値）	6
	取組独自の指標②	マタニティ教室参加者延べ人数（H27年度28人）	実績（値）	35
	事業の分析・評価の根拠及び理由 「上牧町保健事業予定表」「広報 かんまき」「ホームページ」に教室の開催を掲載し、また、妊娠届出時にはほぼ全数、保健師・看護師が面接してアセスメントをし、マタニティ教室への参加を促しています。（妊娠届出件数は年間約100件で近年横ばいの傾向） 就業している妊婦も増加しているため、参加者についても近年横ばい傾向でしたが、平成29年度は参加者延べ人数の目標30名に対し35名（実22名）でした。そのうち夫またはパートナーの参加者延べ人数の目標5名に対し6名（実5名）で目標を達成しました。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 妊娠期の過ごし方・子育てに関する知識の習得や保健福祉サービスの情報を収集する場というだけでなく、地域の中で妊婦の友達が欲しいという住民のかたからの要望があり、仲間づくり・情報共有などの場としてのニーズが高いと思われます。また近年、夫またはパートナーと一緒に教室に参加したいという要望も増えています。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 近年、妊娠届出数が少ないにもかかわらず、窓口での対応や声掛けなどで夫の参加者は増加している傾向から、上記で示したマタニティ教室に係るニーズの高さがうかがえます。また、少子高齢化、核家族化により育児の孤立化が問題になっており、夫やパートナーの妊娠期からの育児参加が重要となっています。 このことから教室を通して地域における妊婦の仲間づくりの場、夫またはパートナーの育児参加のきっかけの場として町が関与していく必要性が高いと感じます。			
事業の見直し余地	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 働いている妊婦や夫またはパートナーの参加が増加していますが、平日は仕事等で参加できないことが多いため、土・日の開催を検討します。また、夫やパートナーのニーズを把握し、満足度の高い内容となるよう工夫（例えば、妊婦体験モデルを装着してもらい疑似体験を通して母体にかかる負担への理解を促します）を検討します。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		夫や働いている妊婦も参加できるよう、2回分を日曜日（年間の教室の開催回数は2クール×年4回で変更なし）に開催します。また、日曜日に開催することで、夫やパートナーと一緒に2人での参加人数の増加を見込み、教室に配置するスタッフを増員いたします。 妊婦体験モデル（77,000円）を購入し、夫に妊婦疑似体験してもらい、母体にかかる負担への理解を促します。 参加者が、上のお子さんを連れて参加できるように、スタッフの配置を検討します。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		マタニティ教室の開催 ・妊婦 妊娠中の食事、沐浴体験、妊婦体験、保健事業の紹介 ・助産師による安産のコツ、子育ての知識習得、参加者同士の交流会 2クール×年4回（午後1時30分から3時）（内2回は夫や働く妊婦にも参加してもらえるよう日曜開催） ・名称に「パパさんもあつまれ！」のサブテーマを追加し、夫・パートナーも参加しやすい教室の周知 ・教室参加者延べ人数を40名を目標に勧奨を実施します。		

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

担当部	住民福祉部	事業年度	平成29年度	総合戦略掲載ページ	【59ページ】
担当課	生き生き対策課	担当係	健康増進係	関連部局	

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	①教育・子育て環境を整えプライベートと仕事の両立を支援する				
	基本的方向	②ライフスタイルの多様化に対応した結婚・出産・子育て支援				
	施策	①結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援				
	取組内容	⑤乳児・幼児健診の実施				
実施の予定・計画	2016年度 (H28年度) 終了時点	②実施済み (継続)	2017年度 (H29年度) 実施予定	①実施する (継続)	説明 (その他の場合)	
実施内容 (当初計画)	乳児・幼児健診の実施 ・3か月児健康診査 集団指導 (予防接種の勧奨、ふれあい遊び、歯のお話) 問診、身体計測、診察、育児、栄養相談 ・10か月児健康診査 問診、身体計測、診察、歯科指導、育児、栄養相談 ・1歳8か月児健康診査 集団指導 (言葉の発達、予防接種の勧奨、歯磨きのポイント)、問診、身体計測、診察、歯科診察、歯科相談、発達相談、育児、栄養相談 ・2歳児歯科検診 集団指導 (予防接種の勧奨、歯科医師からのお話)、問診、ブラッシング指導、歯科診察、フッ素塗布 ・3歳児健康診査 集団指導 (予防接種の勧奨、食事、歯のお話) 問診、身体計測、診察、歯科診察 未受診者には、次回の受診案内、経過観察が必要なかたには後日に連絡を実施					
取組独自の指標	指標①				2017年度 (H29年度) 目標 (値)	
	指標②				2017年度 (H29年度) 目標 (値)	
予算計上時期	当初	当初	補正	説明 (補正のある場合等)		
		1,571				

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度		2017年度 (H29年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (予算)	2018年度 (H30年度) (予定)	2019年度 (H31年度) (予定)	備考
		2018年度 (H30年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (決算見込)	2018年度 (H30年度) (予算)	2019年度 (H31年度) (予定)	
コスト	賃金		500	490	485	485	
			500	490	485	485	
	報償費		998	903	1,269	1,269	
			998	903	1,269	1,269	
	役務費		62	66	69	69	
			62	66	69	69	
需用費		10	112	104	154		
		10	112	104	154		
総事業費			1,560	1,571	1,927	1,977	累計 (前年度時点) 7,035
			1,560	1,571	1,927	1,977	累計 (今年度時点) 7,035
2017年度 (H29年度) 実施結果		実施状況	①当初の計画通りに実施した				
		説明 (「実施状況」で①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載するもの)					

同施策における取組内容	総合戦略記載 担当課	KPI	2015年度 (H27年度) (基準値)	2016年度 (H28年度) 実績値	2017年度 (H29年度)		2018年度 (H30年度) 目標値	2020年 (H32年) (最終目標値)
					予定値	実績値		
★乳児・幼児健診の実施	★生き生き対策課	乳児健診受診率 [3か月児・10か月児]	99.0%	97.6%	98.0%	95.3%	98.0%	100%
★乳児・幼児健診の実施	★生き生き対策課	幼児健診受診率 [1歳8か月児・3歳児]	93.5%	90.0%	90.0%	91.8%	93.0%	98.1%

19.乳児・幼児健診の実施

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
出生数が減少していますが、利便性を意識し乳児健診（3か月児健診・10か月児健診）の回数は1か月に1回実施をしています。しかし、早期に仕事復帰される保護者が多いなどの理由で10か月健康診査の受診率（92.4%）が減少しており、乳児健診全体の受診率をKPI97.6%から95.3%に押し下げています。また、幼児健診（1歳8か月児健診・3歳児健診）については、受診率が90%から91.8%に増加しています。未受診者に対する支援として、電話やハガキで次回実施日への受診勧奨を実施しています。それでも最終的に受診できなかった場合、家庭訪問または所属している保育所等へ訪問し、直接お子さんの健康状態や育児状況を概ね100%把握するように努めています。				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input checked="" type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
異常の早期発見の場となるだけでなく、妊娠期から継続して、育児の悩みや不安を訴えられる場また保護者同士の仲間づくりの場としてのニーズがあります。				
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	乳幼児健康診査は、母子保健法（昭和40年8月18日法律第141号）第12条及び第13条の規定により市町村が乳幼児に対して行う健康診査です。個人の心身の健康状態の把握だけでなく町内に居住する乳幼児の健康状態を把握し、健康増進の施策に反映したり、疾病の早期発見・早期治療のきっかけになる情報を保護者に提供することが最も重要な役割です。また、保護者に対してお子さんに望ましい生活習慣の獲得への助言やむし歯予防、予防接種の接種方法、その他育児に関する適切な指導を行います。			
事業の見直し余地	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	1歳8か月健診の実施日に受診できないようであれば、3歳児健診の実施日に受診できるように配慮します。乳児健診の担当医師が平成30年度より変更になります。未受診者対策（個別受診勧奨）を強化します。乳幼児健診に対する精度管理を実施し、受診者のアンケートや聞き取りを通して事業評価を実施し、実施方法の見直しを検討します。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		1歳8か月健診の実施日に受診できないようであれば、3歳児健診の実施日に受診できるように配慮します。乳児健診の担当医師が平成30年度より変更になります。未受診者対策（個別受診勧奨）を強化します。乳幼児健診に対する精度管理を実施し、受診者のアンケートや聞き取りを通して事業評価を実施し、実施方法の見直しを検討します。最終的に受診できなかった場合、家庭訪問または所属している保育所等へ訪問し、直接お子さんの健康状態や育児状況を概ね把握します。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		乳児・幼児健診の実施 ・3か月児健康診査 集団指導（予防接種の勧奨、ふれあい遊び、歯のお話）問診、身体計測、診察、育児、栄養相談 ・10か月児健康診査 問診、身体計測、診察、歯科指導、育児、栄養相談 ・1歳8か月児健康診査 集団指導（言葉の発達、予防接種の勧奨、歯磨きのポイント）、問診、身体計測、診察、歯科診察、歯科相談、発達相談、育児、栄養相談 ・2歳児歯科検診 集団指導（予防接種の勧奨、歯科医師からのお話）、問診、ブラッシング指導、歯科診察、フッ素塗布 ・3歳児健康診査 集団指導（予防接種の勧奨、食事、歯のお話）問診、身体計測、診察、歯科診察 経過観察が必要な場合には後日に連絡を実施し状況を確認 未受診者に対する支援として、電話やハガキで次回実施日への受診勧奨を実施します。 それでも最終的に受診できなかった場合、家庭訪問または所属している保育所等へ訪問し、直接お子さんの健康状態や育児状況を概ね把握します。		

20.新米ママへの訪問カウンセリングの拡充

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①	訪問実施率	実績（値）	99.1%
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 産後1～2か月時に、家庭訪問を実施し、母子の健康状態の把握、相談を実施しました。訪問を実施することで、母親は育児に関する不安や悩みが表出でき、保健師が家庭環境を把握することで適切な支援につなげています。 実績としては、訪問拒否の1件以外は全数（105件）訪問しました。訪問拒否の1件についても、乳児健診の個別指導等で取りこぼすことなく支援を実施しました。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 出生数は横ばいではありますが、乳幼児相談の件数が319件（平成27年度）から351件（平成29年度）と年々増加しています。出産後のみならず、妊娠期から継続して気軽に相談したいというニーズが高いと思われます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 上記の乳児相談件数の増加のみならず、核家族世帯や母子家庭の増加など様々な家庭が抱える育児不安に対し、妊娠期からの切れ目のない、細やかな訪問・電話等の支援が必要と考えます。町の保健師等の訪問・相談により、助言等を行うことで育児の不安解消につなげる必要性があります。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 様々な家庭が抱える育児不安に対し、妊娠期からの切れ目のない細やかな訪問・電話等での支援や、他課・他機関が実施する町の子育て支援サービスの情報を整理し、必要な情報及び支援を包括的に提供する子育て包括支援センター設置（2019年以降）に向けた環境整備を図る必要があります。また、きめ細やかな訪問支援にむけ、助産師職等多職種も視野に入れて検討します。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		様々な家庭が抱える育児不安に対し、妊娠期からの切れ目のない、きめ細やかな訪問・電話等の子育て支援や、他課・他機関が実施する町の子育て支援サービスの情報を整理し、必要な情報及び支援を包括的に提供する子育て包括支援センター設置（2019年以降）に向けた環境整備を図ります。また、きめ細やかな訪問支援にむけ、助産師職等多職種も視野に入れます。		
2018年度（H30年度） 取組予定		新米ママへの訪問、カウンセリングの拡充 ・妊娠期からの訪問・電話等の支援を行います。 ・新生児等の育児について、発育、栄養、衣服、生活環境、疾病予防に関すること（保護者に対する問診、新生児の観察等を行い異常又は疾病の発見並びに早期治療を受けることの指導、助言含む）等全般に指導、助言を行います。 また、保護者への健康管理について、指導、助言を行います。		

21.不妊治療助成制度の創設

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 平成28年度の利用実績が3件により、平成29年度のKPIを5件と想定し、実施しましたが、結果8件の利用があり、また、この不妊治療費助成金を利用された方の中で3名の方が無事出産されました。 広報（1月）、ホームページ（4月～）等で周知啓発を行った結果、少しずつ周知されてきていると考えられます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 不妊治療を受けたいが、経済負担が大きいため何らかの補助制度がないかとの問い合わせが近年増加していることからこの制度のニーズの高まりを実感します。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 不妊治療のうち、特定不妊治療（体外受精、顕微授精）は県からの助成があり、町では一般不妊治療の助成をしています。少子化対策の一環として経済負担の軽減を図り、不妊で悩む夫婦の経済的及び精神的負担を軽減するために町関与の必要性が高いと考えられます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 昨年度よりも申請数が増加しており、増加に応じた予算計上が必要です。一層の周知にむけ、今年度も広報、ホームページ、健診の場等で啓発をしていきます。平成30年度からはより多く利用してもらうために、個別に周知できるように近隣の産婦人科にチラシやパンフレットの設置協力を依頼するなど周知に工夫を図る必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		昨年度よりも申請数が増加しており、周知も少しずつ広がっています。しかし今後も広報、ホームページ、健診の場等で啓発をしていき、周知方法（個別に周知できるように近隣の産婦人科にチラシやパンフレットの設置協力を依頼するなど）も今後検討し拡大していきます。また、申請数増加や平成29年度実績に応じた予算計上を行い、出産数増加への取り組みを行います。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		・不妊治療助成制度 一般不妊治療を受けている夫婦に対して不妊治療に要する費用の一部を助成し、不妊で悩む夫婦の経済的及び精神的負担の軽減を図り、少子化対策の推進に寄与することを目的とします。 ・ホームページ、広報、健診、チラシ、ポスター（公的機関以外にも近隣の産婦人科に設置協力を依頼）などで啓発を徹底します。		

22. 不育症治療助成制度の創設

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 平成28年度の利用実績が1件により、平成29年度のKPIを3件と想定し、実施しましたが、結果3件の利用があり、また、この不育治療費助成金を利用された方の中で2名の方が無事出産されました。 年間保健事業、ホームページ（4月～）、広報（1月）等に掲載し周知啓発を行った結果少しずつ周知されてきていると考えられます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する方向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 不育症治療を受けたいが、経済負担が大きいため何らかの補助制度がないかとの問い合わせが近年増加していることからこの制度のニーズの高まりを実感します。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 必要性が高い <input type="checkbox"/> B. 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C. 必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 少子化対策の一環として経済負担の軽減を図り、不育で悩む夫婦の経済的及び精神的負担を軽減するために町の関与の必要性が高いと考えられます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 昨年度よりも申請数が増加しており、少しずつ周知されてきていますが、一人でも多く不育に困っている方に利用してもらえるように、一層の周知にむけて今後も広報、ホームページ、健診の場等で啓発するほか、個別に周知できるように近隣の産婦人科にチラシやパンフレットの設置協力を依頼するなど周知の工夫を図る必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		昨年度よりも申請数が増加しており、少しずつ周知されてきていますが、一層の周知にむけて今後も広報、ホームページ、健診の場等で啓発をしていき、周知方法（個別に周知できるように近隣の産婦人科にチラシやパンフレットの設置協力を依頼するなど）も今後検討していきます。また、申請数増加や平成29年度実績に応じた予算計上を行い、出産数増加への取り組みを行います。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		不育症治療助成制度 一般不育治療を受けている夫婦に対して不育治療に要する費用の一部を助成し、不育で悩む夫婦の経済的及び精神的負担の軽減を図り、少子化対策の推進に寄与することを目的とします。 ホームページ、広報、チラシ、ポスター（公的機関以外にも近隣の産婦人科に設置協力を依頼）などで啓発を徹底します。		

23.通勤時間のかかる世帯の延長保育料金の支援

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった																																																																																																																				
	取組独自の指標①											実績（値）																																																																																																										
	取組独自の指標②											実績（値）																																																																																																										
	事業の分析・評価の根拠及び理由 平成29年度に「かんまき子育て支援ガイドブック」を作成し、関係機関や妊娠届提出時、他市町村からの転入時に配布することにより、担当窓口以外でもより一層の周知を図りました。よって、延長保育実利用人数は、平成28年度161名（短時間保育34名・標準時間保育127名）、平成29年度194名（短時間保育55名・標準時間保育139名）と増加しました。																																																																																																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="6">公立</th> <th colspan="6">民間</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>か所数</th> <th>短時間認定</th> <th>標準時間認定</th> <th>年間実利用児童数</th> <th>短時間認定</th> <th>標準時間認定</th> <th>か所数</th> <th>短時間認定</th> <th>標準時間認定</th> <th>年間実利用児童数</th> <th>短時間認定</th> <th>標準時間認定</th> <th>か所数</th> <th>年間実利用児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上牧第1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>22</td> <td>16</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>慈光</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>47</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>1</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>西大和黎明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>46</td> <td>1</td> <td>45</td> <td>1</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>やまびこ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>79</td> <td>15</td> <td>64</td> <td>1</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>22</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>172</td> <td>39</td> <td>133</td> <td>4</td> <td>194</td> </tr> </tbody> </table>																公立						民間						合計		か所数	短時間認定	標準時間認定	年間実利用児童数	短時間認定	標準時間認定	か所数	短時間認定	標準時間認定	年間実利用児童数	短時間認定	標準時間認定	か所数	年間実利用児童数	上牧第1	1	1	1	22	16	6							1	22	慈光							1	1	1	47	23	24	1	47	西大和黎明							1	1	1	46	1	45	1	46	やまびこ							1	1	1	79	15	64	1	79	合計	1	1	1	22	16	6	3	3	3	172	39	133	4	194
	公立						民間						合計																																																																																																									
	か所数	短時間認定	標準時間認定	年間実利用児童数	短時間認定	標準時間認定	か所数	短時間認定	標準時間認定	年間実利用児童数	短時間認定	標準時間認定	か所数	年間実利用児童数																																																																																																								
上牧第1	1	1	1	22	16	6							1	22																																																																																																								
慈光							1	1	1	47	23	24	1	47																																																																																																								
西大和黎明							1	1	1	46	1	45	1	46																																																																																																								
やまびこ							1	1	1	79	15	64	1	79																																																																																																								
合計	1	1	1	22	16	6	3	3	3	172	39	133	4	194																																																																																																								
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある																																																																																																																				
	事業の分析・評価の根拠及び理由 少子高齢化は進行しているものの、女性の社会進出による共稼ぎ夫婦の増加に伴い、そのニーズは今後さらに拡大するものと考えます。																																																																																																																					
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない																																																																																																																				
	事業の分析・評価の根拠及び理由 共働きしやすい環境を整備していくうえで、利用者負担を最小限に抑え、かつ、安心して利用していただくためには町関与の必要性は高いと考えます。																																																																																																																					
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない																																																																																																																				
	事業の分析・評価の根拠及び理由 今後、長時間延長保育のニーズの増加が見込まれるのに伴い、事業費も増加すると考えられます。平成30年度に実施予定のアンケート調査（子ども・子育て支援事業計画）をもとに、ニーズの掘り起こしを行い、取り組んでいきたいと考えます。																																																																																																																					

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		現状のまま継続することとし、平成30年度策定予定の子ども・子育て支援事業計画アンケート調査結果を踏まえ、住民ニーズに対応していきます。ただし、児童数の減少等の影響により、実利用人数は減少するものの、延べ利用時間、延べ利用人数は増加すると考えます。早朝または、保育終了後の延長利用については、ニーズ調査の結果を踏まえ、保護者ニーズの対応を図っていきます。		
2018年度（H30年度） 取組予定		現状のまま継続することとし、平成30年度策定予定の子ども・子育て支援事業計画アンケート調査結果を踏まえ、住民ニーズに対応していきます。ただし、児童数の減少等の影響により、実利用人数は、減少するが、延べ利用時間、延べ利用人数は増加すると考えます。早朝または、保育終了後の延長利用については、ニーズ調査の結果を踏まえ、保護者ニーズの対応を図っていきます。		

24. 病児病後児保育機能の強化と保護者負担の軽減

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																					
	取組独自の指標①						実績（値）																																
	取組独自の指標②						実績（値）																																
	事業の分析・評価の根拠及び理由 保育事業の機能強化面では、平成27年6月より本事業を開始しております。当初の利用時間は午前8時～午後5時まででしたが、午前8時～午後6時まで延長され、受入れ人数も、当初1日の定員を6名から10名に引き上げられ保育機能の強化ができたのではないかと考えます。病児保育延べ人数は、平成28年度51名（実利用人数6名）、平成29年度は15名（実利用人数6名）となりました。よって、ニーズに沿った行政サービスの提供ができており、2020年に設定された目標値に対する進捗も概ね目標どおりであるため、成果は得られたと考えます。																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>上牧町</td> <td>大和高田市</td> <td>香芝市</td> <td>葛城市</td> <td>広陵町</td> <td>王寺町</td> <td>御所市</td> <td>河合町</td> <td>田原本町</td> </tr> <tr> <td>延べ利用人数</td> <td>15</td> <td>519</td> <td>357</td> <td>104</td> <td>135</td> <td>33</td> <td>22</td> <td>7</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>24</td> <td>489</td> <td>225</td> <td>123</td> <td>163</td> <td>57</td> <td>26</td> <td>19</td> <td>34</td> </tr> </table>											上牧町	大和高田市	香芝市	葛城市	広陵町	王寺町	御所市	河合町	田原本町	延べ利用人数	15	519	357	104	135	33	22	7	39	登録者数	24	489	225	123	163	57	26	19	34
	上牧町	大和高田市	香芝市	葛城市	広陵町	王寺町	御所市	河合町	田原本町																														
延べ利用人数	15	519	357	104	135	33	22	7	39																														
登録者数	24	489	225	123	163	57	26	19	34																														
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する方向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する方向にある																																					
	事業の分析・評価の根拠及び理由 少子高齢化は進行しているものの、女性の社会進出による共稼ぎ夫婦の増加に伴い、そのニーズは今後さらに拡大するものと考えます。																																						
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 必要性が高い <input type="checkbox"/> B. 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C. 必要性が低い、ない																																					
	事業の分析・評価の根拠及び理由 共働きしやすい環境を整備していくうえで、利用者負担を最小限に抑え、かつ、安心して利用していただくためには町関与の必要性は高いと考えます。																																						
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がない																																					
	事業の分析・評価の根拠及び理由 本事業は、9市町の協定と病院側との共同事業であり、上牧町単独での見直しは困難なため、引き続き協議のうえ、ニーズがあれば改善に向け努力していきます。受益者負担のあり方については、補助要綱が定められているところから、見直す余地はあるものの、難しいところがあると考えられます。																																						

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		当面は現状を維持し、事業委託先と協定を結ぶ9市町でさらなる利用人数及び利用時間の延長を検討しながら本事業に取り組んでいきます。また、町としては登録者数を増やすために、定期的に広報及びホームページに掲載し、周知をしていきます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		当面は現状を維持し、事業委託先と協定を結ぶ9市町でさらなる利用人数及び利用時間の延長を検討しながら本事業に取り組んでいきます。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し 説明 (見通しが「その他」の場合)	⑤その他 ①代替事業の実施を検討している
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		県が実施するファイナンシャル相談員派遣事業等も活用し、関係機関と連携しながら事業に取り組んでいきたいと考えます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		県が実施するファイナンシャル相談員派遣事業等も活用し、町が開催するペガサスフェスタでファイナンシャルプランナーによるセミナーや相談会の開催を予定しております。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し 説明 (見通しが「その他」の場合)	⑤その他 ①代替事業の実施を検討している
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		生き活き対策課で同様の事業を実施しているため、現在のところ実施予定はありません。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成29年度は、生き活き対策課の教室「妊婦さん集まれ」に夫も実人数4名、延べ人数7名の方が参加しておられます。平成30年度は教室を「妊婦さん集まれパパも集まれ」に変更し、対象者を妊婦とその夫とし日曜日開催を予定しております。現在のところ生き活き対策課で同様の事業が実施されているためこども支援課での実施予定はありません。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 英語知育教育は、外国人英語講師により毎月1回5歳児クラスを対象に1時間、英語のリズムに合わせてダンスや歌を歌ったりした結果、英語やアルファベットに対して興味を示し、もっと覚えたい、知りたいという意欲を持ち、英語という異文化に触れ楽しんでいる姿が見れました。 和太鼓は、年5回5歳児クラスを対象に90分、音楽に合わせてリズムをとり体感が鍛えられ集中力を養い共同性が生まれ、子どもが興味を持ったものに関わりながら学ぶことができたと考えられます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 年長になれば、自分たちもやれるという期待感や憧れを抱き、苦手意識を持つことなく子ども自身がスムーズに対応できるようにしておくことは非常に重要なことだと思われまますので、今後さらにニーズは拡大するものと考えます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 共働きしやすい環境を整備していくうえで、利用者負担を最小限に抑え、かつ安心して利用していただくためには町関与の必要性は高いと考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 子どもたちに豊かな経験をさせることによって学ぶ力や心情、意欲などが育ち能力の向上につながると考え、引き続き実施していきますが、平成30年度に実施予定のアンケート調査（子ども・子育て支援事業計画）をもとに、ニーズの掘り起こしを行い、取り組んでいきたいと考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		子どもたちに豊かな経験をさせることによって学ぶ力や心情、意欲などが育ち能力の向上につながるため、今後も継続して実施していく予定です。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		子どもたちに豊かな経験をさせることによって学ぶ力や心情、意欲などが育ち能力の向上につながるため、今後も継続して実施していく予定です。平成30年度に実施予定のアンケート調査（子ども・子育て支援事業計画）の結果を踏まえ保護者のニーズの対応を図っていきます。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	⑤その他
			説明 (見通しが「その他」の場合)	②事業実施の目途は立っていない
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		関係機関と接触を試み働きかけを行いました。提供会員の人材確保が困難なため実施には至っておりませんが、先進地の事例を参考に、提供会員確保するため適切な団体と協議し検討を図ります。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		ファミリーサポートセンター事業とよく似た事業内容で上牧町社会福祉協議会が実施しております託児ボランティア事業をファミリーサポートセンター事業に切替え実施ができないかを協議し、検討を図ります。		

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

担当部	住民福祉部	事業年度	平成29年度	総合戦略掲載ページ	【60ページ】
担当課	こども支援課	担当係	児童福祉係	関連部局	

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	①教育・子育て環境を整えプライベートと仕事の両立を支援する				
	基本的方向	②ライフスタイルの多様化に対応した結婚・出産・子育て支援				
	施策	③安心して共働きできる環境の整備				
	取組内容	⑦放課後児童クラブの充実				
実施の予定・計画	2016年度 (H28年度) 終了時点	②実施済み (継続)	2017年度 (H29年度) 実施予定	①実施する (継続)	説明 (その他の場合)	
実施内容 (当初計画)	保護者が共働き家庭等により、放課後や長期休業日（夏休みなど）に保護者の家庭保育が受けられない児童に適切な遊びや生活の場を提供し健全育成を図ります。 ◎上牧町学童保育事業実施規則 (開設時間) 第3条 学童保育所の開設時間は、次の各号に掲げる区分に応じて、当該各号に定める時間とする。 (1) 月曜日から金曜日まで 放課後から午後6時まで (2) 土曜日 午前8時30分から午後6時まで (3) 学校休業日 午前8時30分から午後6時まで。ただし、夏期休業日、冬期休業日及び春期休業日は、午前8時から午後6時までとする。					
取組独自の指標	指標①				2017年度 (H29年度) 目標 (値)	
	指標②				2017年度 (H29年度) 目標 (値)	
予算計上時期	当初及び補正	当初	補正	説明 (補正のある場合等)	人事異動に伴う人件費の調整の為。	
		21,948	2,066			

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	2017年度 (H29年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (予算)	2018年度 (H30年度) (予定)	2019年度 (H31年度) (予定)	備考
	2018年度 (H30年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (決算見込)	2018年度 (H30年度) (予算)	2019年度 (H31年度) (予定)	
コスト	給料	4,075	3,502	3,584	3,584	
		4,075	3,502	3,584	3,584	
	職員手当等	2,131	1,784	1,823	1,823	
		2,131	1,782	1,823	1,823	
	共済費	1,293	1,515	1,586	1,586	
		1,293	1,508	1,586	1,586	
	賃金	13,088	15,796	15,619	15,619	
		13,088	14,788	15,619	15,619	
	その他	3,141	1,417	1,749	1,749	
		3,141	1,314	1,749	1,749	
総事業費	23,728	24,014	24,361	24,361	累計 (前年度時点)	96,464
	23,728	22,894	24,361	24,361	累計 (今年度時点)	95,344
2017年度 (H29年度) 実施結果	実施状況	①当初の計画通りに実施した				
	説明 (「実施状況」で①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載するもの)					

同施策における取組内容	総合戦略記載担当課	KPI	2015年度 (H27年度) (基準値)	2016年度 (H28年度) 実績値	2017年度 (H29年度) 予定値		2018年度 (H30年度) 目標値	2020年 (H32年) (最終目標値)
					実績値			
★放課後児童クラブの充実	★福祉課	放課後児童クラブ受入人数	125人	135人	135人	135人	140	150人

29.放課後児童クラブの充実

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 平成28年度135名、平成29年度135名の受け入れを行いました。また、平成29年度より全学年を対象として、通年及び長期休暇のみの受け入れを実施しました。待機児童もなく申込者すべての受け入れができ概ね目標の結果が得られたと考えます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 少子高齢化は進行しているものの、女性の社会進出による共稼ぎの増加に伴い、そのニーズは今後さらに拡大するものと考えます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 共働きしやすい環境を整備していくうえで、利用者負担を最小限に抑え、かつ安心して利用していただくためには町関与の必要性は高いと考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 引続き本事業を実施していきますが、平成30年度に実施予定のアンケート調査（子ども・子育て支援事業計画）をもとにニーズの掘り起こしを行い取り組んでいきたいと考えております。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		④平成27～28年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		引続き本事業を実施していきますが、平成30年度に実施予定のアンケート調査（子ども・子育て支援事業計画）をもとにニーズの掘り起こしを行い取り組んでいきたいと考えております。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		現状のままを維持しますが、平成30年度に実施予定のアンケート調査（子ども・子育て支援事業計画）の結果を踏まえ保護者のニーズに対応を図っていきます。		

30.子育てママ就業支援事業

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①	テレワーク事業拠点雇用者数	実績（値）	15人
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 就業支援施設については、平成29年12月1日に開設し、平成29年度終了時点で15名が事業拠点においてテレワークに従事されている状況です。当初は30人の雇用を目標としていましたが、他自治体の状況なども考慮し、事業の立ち上げにあたっては、まずはじめに中核となる人材の育成を行ったうえで、事業を軌道に乗せていくべきであると考え、体制強化を図るため、経験者を中心に初年度は15人に絞って採用しました。目標の雇用人数には達していませんが、事業拠点の運営については、計画どおり順調に稼働できており、また今後、上牧町民を中心に雇用を増やしていく予定であることから、女性の自己実現や社会復帰を支援する取組としては一定の成果は得られたと考えます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 事業を拡大展開するために人材を確保したい企業側と育児の都合に合わせて自由な働き方を希望する母親の双方からのニーズがあります。また、全国的に女性の就業、共働きは増加の傾向（2016年の女性就業率66.0%：1968年の調査開始以来過去最高水準を記録）にあり、今後もニーズは増加すると考えられます。（出典:男女共同参画白書）			
	事業の分析・評価の根拠及び理由 子育てママ就業支援事業における事業拠点の運営に関する業務については、民間事業者へ委託しており、町の関与は少なくなっていますが、子育て世代が暮らしやすいまちづくりを推進していくための取り組みについては今後も町が主体となって推進していく必要があると考えます。			
町関与の必要性		<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 子育てママ就業支援事業における事業拠点の運営に関する業務については、民間事業者へ委託しており、町の関与は少なくなっていますが、子育て世代が暮らしやすいまちづくりを推進していくための取り組みについては今後も町が主体となって推進していく必要があると考えます。			
	事業の分析・評価の根拠及び理由 子育てママ就業支援事業については先駆的な取組であることから、将来的な展望を見すえ、成果を高めるための見直しも視野に入れた調査・研究の時間を確保することを想定しています。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 子育てママ就業支援事業については先駆的な取組であることから、将来的な展望を見すえ、成果を高めるための見直しも視野に入れた調査・研究の時間を確保することを想定しています。			
	事業の分析・評価の根拠及び理由 子育てママ就業支援事業については先駆的な取組であることから、将来的な展望を見すえ、成果を高めるための見直しも視野に入れた調査・研究の時間を確保することを想定しています。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		③平成29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		子育てママ就業支援事業については、子育て世代にとって暮らしやすいまちづくりを推進していくため、継続していきますが、今後はさらに効果を高めるために、ニーズの把握や成功事例の研究を行い、事業をブラッシュアップしながら取り組んでいきたいと考えます。		
2018年度（H30年度） 取組予定		事業拠点（上牧町ささゆりルーム1F）におけるテレワークを活用した子育てママ就業支援事業を継続実施するとともに、平成30年度については、事業拠点のテレワーク業務の品質の確保とあわせて、事業拠点で支援を受けられる人数には限りがあることから、町内子育て期間中のかた全てを対象とした就業支援事業モデルを新たに構築するため、テレワーク業務の発注先の民間事業者などと連携して人材育成プログラムの作成や先進事例の研究、協力先の確保など、平成31年度に実証実験を行うことを想定した調査、準備に取り組む予定です。		

31.通級指導教室の充実

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 指導方法の創意工夫や保護者との教育相談、他の教職員に対する指導助言等が総合的に効果を上げ、コミュニケーションや学習に課題を抱える児童の成長が見られました。 開設当初は通常の授業を抜けて通級することに抵抗感が見られたが、保護者や教職員の理解も深まり、通級者数が増加しています。 また平成29年9月から訪問通級指導の開始により、北葛城郡内の通級指導教育についてのセンター的役割がより一層大きくなっています。 ○ 通級児童生徒数 上牧町内……31名 上牧町外……29名 ○ 訪問通級指導の割り当て 河合町……毎週火曜日 王寺町……毎週木曜日 広陵町……毎週金曜日			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 指導時間や回数を増やしてほしいとの保護者の要望や、中学校でも通級指導を実施してほしいとの声も上がっています。 通級指導教室の存在意義が一般にも認知され、質、量ともに、より一層の向上が求められています。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 義務教育段階の児童を対象とした事業であり、町の関与は必須であると考えますが、訪問通級指導については平成29年度から平成30年度までは県のモデル事業の指定を受けて実施しているので、県教育委員会との連携を図っていく必要があります。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 指導時間や回数等の要望もあるが、現状は概ねニーズに合った指導ができていると考えられます。保護者や教職員の理解も深まっており、訪問通級指導の開始もあって、北葛城郡内のセンター的役割が強まり、総合的に効果を上げていていると考えられます。訪問通級指導は、町によって希望する人数に差があるので、1町につき1曜日の割り当てという体制については見直す余地があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		引き続き通級指導教室を実施し、訪問通級指導も実施していく予定です。訪問通級指導は平成29年度から平成30年度まで2ヶ年の県のモデル事業であります。本事業のニーズや重要性を考慮し、モデル事業終了後も事業を継続していきます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度においても、引き続き本事業を継続して実施することを予定しています。		

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

担当部	教育部	事業年度	平成29年度	総合戦略掲載ページ	【61ページ】
担当課	教育総務課	担当係	学校教育係	関連部局	

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	①教育・子育て環境を整えプライベートと仕事の両立を支援する				
	基本的方向	③ふるさと教育の充実				
	施策	①ふるさと教育の充実				
	取組内容	①県や地域と連携した学習体験・交流活動の実施				
実施の予定・計画	2016年度 (H28年度) 終了時点	②実施済み (継続)	2017年度 (H29年度) 実施予定	①実施する (継続)	説明 (その他の場合)	
実施内容 (当初計画)	キャリア教育の一環として生徒の職業観を育み、また、本事業実施後に予定されている職場体験学習への意欲的な参加につなげていくための取組です。上牧中学校・上牧第二中学校の二年生を対象として、各業界で活躍している職業人をゲストティーチャーとして招聘し、自身の職業に関する講話をいただいたり、生徒の前で実演していただきます。 【平成29年度ゲストティーチャー (予定)】 フラワーショップ店長、私立幼稚園長、和食職人、ツアーコンダクター、CA、洋菓子職人、助産師、板金職人、美容師 等					
取組独自の指標	指標①				2017年度 (H29年度) 目標 (値)	
	指標②				2017年度 (H29年度) 目標 (値)	
予算計上時期		当初	補正	説明 (補正のある場合等)		

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	2017年度 (H29年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (予算)	2018年度 (H30年度) (予定)	2019年度 (H31年度) (予定)	備考
	2018年度 (H30年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (決算見込)	2018年度 (H30年度) (予算)	2019年度 (H31年度) (予定)	
コスト	事業費					
	総事業費	0	0	0	0	累計 (前年度時点) 0
		0	0	0	0	累計 (今年度時点) 0
2017年度 (H29年度) 実施結果	実施状況	①当初の計画通りに実施した				
	説明 (「実施状況」で①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載するもの)					

同施策における取組内容	総合戦略記載担当課	KPI	2015年度 (H27年度) (基準値)	2016年度 (H28年度) 実績値	2017年度 (H29年度)		2018年度 (H30年度) 目標値	2020年 (H32年) (最終目標値)
					予定値	実績値		
★県や地域と連携した学習体験・交流活動の実施	★教育総務課	県内企業や地域との交流活動回数	1回	2回	2回	2回	2回	3回
★KPI【県内企業や地域との交流活動回数 (2回)】の内訳★								
		○「職場のプロに学ぶ」(ゲストティーチャーの招聘)	1回					
		○「職場体験の実施」	1回					

32.県や地域と連携した学習体験・交流活動の実施

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 「職場のプロに学ぶ」と銘打ち、各分野の職業現場で実際に用いられている用語や知識、技術・技能を肌で感じる事が出来る貴重な機会を得ることができました。学習の前後にそれぞれアンケートを実施し、職業観についてより具体的で鮮明なイメージを持つことができました。また、学習後に感想文やゲストティーチャーへの御礼文を作成することによって、自身が学習した内容を振り返る機会となり、得られた知識や経験を整理することによって、将来に向けた職業観を形成する一助となりました。 ○時数……2～3コマ ○ゲストティーチャー……9業種 （内訳：フラワーショップ店長、私立幼稚園長、和食職人、ツアーコンダクター、CA、洋菓子職人、助産師、板金職人、美容師）			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 キャリア教育の一環である本事業を通して、職業には多様な分野があることが理解できます。それぞれの職業に特色があることや、そこで働く人々の生の声を聴くことによって、その職業の素晴らしさや大変さ、やりがい等を知ることができました。また、それまで漠然としていた職業観が、キャリア教育を通してより鮮明なものとなるのが推察されるので、生徒たちに数年後訪れる職業選択の時に、判断基準の一つとして本体験学習の経験が活かされると思われれます。			
	事業の分析・評価の根拠及び理由 将来を担う子どもの「働くこと」への関心・意欲を高めることは、今後の町行政推進の観点からも非常に重要であり、教育現場におけるキャリア教育の一環である本事業について、町としても積極的に協力していく必要があると考えます。ゲストティーチャーは、過去に実施実績のある方や奈良県職業能力開発協会から紹介いただいた方をお願いしていますが、より多様な分野の職業人をゲストティーチャーとして招聘できるように、町独自でも人的資源の確保を模索したいと考えます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 将来を担う子どもの「働くこと」への関心・意欲を高めることは、今後の町行政推進の観点からも非常に重要であり、教育現場におけるキャリア教育の一環である本事業について、町としても積極的に協力していく必要があると考えます。ゲストティーチャーは、過去に実施実績のある方や奈良県職業能力開発協会から紹介いただいた方をお願いしていますが、より多様な分野の職業人をゲストティーチャーとして招聘できるように、町独自でも人的資源の確保を模索したいと考えます。			
	事業の分析・評価の根拠及び理由 将来を担う子どもの「働くこと」への関心・意欲を高めることは、今後の町行政推進の観点からも非常に重要であり、教育現場におけるキャリア教育の一環である本事業について、町としても積極的に協力していく必要があると考えます。ゲストティーチャーは、過去に実施実績のある方や奈良県職業能力開発協会から紹介いただいた方をお願いしていますが、より多様な分野の職業人をゲストティーチャーとして招聘できるように、町独自でも人的資源の確保を模索したいと考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 生徒それぞれが興味・関心のある分野と、ゲストティーチャーとして実際に招聘する方の職種のマッチングについて、生徒が希望する分野のゲストティーチャーを全て招聘することは困難なので、生徒が希望する分野のゲストティーチャーではない場合でも、職業人としての経験談を聴くことの意義や、目の前で実演していただける事が貴重な体験であるということを事前に理解させ、意欲を持って学習活動に取り組むことができるようにしていきます。			
	事業の分析・評価の根拠及び理由 生徒それぞれが興味・関心のある分野と、ゲストティーチャーとして実際に招聘する方の職種のマッチングについて、生徒が希望する分野のゲストティーチャーを全て招聘することは困難なので、生徒が希望する分野のゲストティーチャーではない場合でも、職業人としての経験談を聴くことの意義や、目の前で実演していただける事が貴重な体験であるということを事前に理解させ、意欲を持って学習活動に取り組むことができるようにしていきます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		教育現場におけるキャリア教育の一環である本事業について、今後も積極的に取り組んでいき、より多様な分野の職業人をゲストティーチャーとして招聘できるようにしたいと考えます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度においても、引き続き本事業を継続して実施する事を予定しています。		

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

担当部	教育部	事業年度	平成29年度	総合戦略掲載ページ	【61ページ】
担当課	教育総務課	担当係	学校教育係	関連部局	

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合戦略上の位置づけ	基本目標	①教育・子育て環境を整えプライベートと仕事の両立を支援する				
	基本的方向	③ふるさと教育の充実				
	施策	①ふるさと教育の充実				
	取組内容	②県内優良企業や町内企業における職場体験学習				
実施の予定・計画	2016年度 (H28年度) 終了時点	②実施済み (継続)	2017年度 (H29年度) 実施予定	①実施する（継続）	説明 (その他の場合)	
実施内容（当初計画）	<p>中学校でのキャリア教育における中核事業として、本事業を位置付けています。町内外の事業所に協力いただき（上牧中学校は47事業所、上牧第二中学校は25事業所）、第二学期に中学2年生が2～3日間の職場体験学習を実施します。事前打合わせは生徒自らが各受け入れ先事業所に連絡を取ったうえで出向き、また、事前学習として、「マナー講習会」を受講したり、「仕事のプロに学ぶ」講演会を実施したりして、礼儀やマナーとともに働くことの意義を考え、当日の体験を成功させるための学習活動を展開していきます。受け入れ先事業所の内訳として、飲食店・生花店・スポーツ用品店・理美容室・ペットショップ・自動車販売店・楽器店・ゴルフ練習場・複合商業施設・電器店等の接客業、運送店・JR駅舎・交通社等の運送業、食品製造・加工業の工場、幼稚園・保育所・郵便局・図書館・社会福祉法人事業所等があります。</p>					
取組独自の指標	指標①				2017年度 (H29年度) 目標（値）	
	指標②				2017年度 (H29年度) 目標（値）	
予算計上時期		当初	補正	説明 (補正のある場合等)		

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	2017年度 (H29年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (予算)	2018年度 (H30年度) (予定)	2019年度 (H31年度) (予定)	備考
	2018年度 (H30年度) 時点	2016年度 (H28年度) (決算)	2017年度 (H29年度) (決算見込)	2018年度 (H30年度) (予算)	2019年度 (H31年度) (予定)	
コスト 事業費						
	総事業費	0	0	0	0	累計 (前年度時点) 0
		0	0	0	0	累計 (今年度時点) 0
2017年度 (H29年度) 実施結果	実施状況	①当初の計画通りに実施した				
	説明 (「実施状況」で①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載するもの)					

同施策における取組内容	総合戦略記載 担当課	KPI	2015年度 (H27年度) (基準値)	2016年度 (H28年度) 実績値	2017年度 (H29年度) 予定値		2018年度 (H30年度) 目標値	2020年 (H32年) (最終目標値)
					実績値	実績値		
★県や地域と連携した学習体験・交流活動の実施	★教育総務課	県内企業や地域との交流活動回数	1回	2回	2回	2回	2回	3回
★KPI【県内企業や地域との交流活動回数（2回）】の内訳★								
		○「職場のプロに学ぶ」（ゲストティーチャーの招聘）	1回					
		○「職場体験の実施」	1回					

33. 県内優良企業や町内企業における職場体験学習

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 職業体験を行ったことにより、各分野の職業現場で実際に用いられている用語や知識、技術・技能を肌で感じることが出来る貴重な機会を得ることができました。中学二年生の生徒が対象で、実施時期は第二学期の2～3日間。 職場体験学習を実施した学習の前後にそれぞれアンケートを実施したところ、職業観について学習前より具体的で鮮明なイメージを持つことができたという回答が多数ありました。学習後に感想文やお世話になった商店等への御礼文を作成することによって、自身が学習した内容を振り返る機会となり、将来に向けた職業観を形成する一助となっています。 職業体験受入れ先内訳として、飲食店・生花店・スポーツ用品店・理美容室・ペットショップ・自動車販売店・楽器店・ゴルフ練習場・複合商業施設・電器店等の接客業、運送店・J R 駅舎・交通社等の運送業、食品製造・加工業の工場、幼稚園・保育所・郵便局・図書館・社会福祉法人事業所等。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する方向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 キャリア教育の一環である本事業を通して、職業には多様な分野があることが理解できます。あわせて、それぞれの職業に特色があることや、そこで働く人々の生の声をきくことによって、その職業の素晴らしさや大変さ、やりがい等を知ることができた。特色には地域性も大きく関係していることから、キャリア教育と同時に地元・上牧（奈良）に対する愛着や誇りを持つきっかけになったと考えられます。また、それまで漠然としていた職業観が、キャリア教育を通してより鮮明なものとなるのが推察されるので、数年後、生徒たちに訪れる職業選択の時に、判断基準の一つとして本体験学習の経験が生かされることが期待されます。今後は職業の多様化により、希望する職種が増える可能性は考えられます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 必要性が高い <input type="checkbox"/> B. 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C. 必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 将来を担う子どもの「働くこと」への関心・意欲を高めることは、今後の町行政推進の観点からも非常に重要であり、教育現場におけるキャリア教育の一環である本事業について、町としても積極的に協力していくことが必要であると考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 事業は現状を維持しながら進めていきますが、学習内容をより充実・発展させるための見直しとして、新規の受入れ事業所を開拓することが挙げられます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		教育現場におけるキャリア教育の一環である本事業について、今後も積極的に取り組んでいき、職業体験では、新規の受入れ事業所も開拓していきたいと考えます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度においても、引き続き本事業を継続して実施する事を予定しています。		

34.空き家バンク登録物件の説明会の開催

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	④平成31年度において事業実施予定
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		平成28年度に実施した所有者アンケートで利活用の意向があった所有者等に対し、再度意向調査を行い、空き家の利活用を検討している方の中で、空き家バンクへの公開を承諾して頂いた物件については、不動産業者等との連携体制構築とともに全国版空き家バンクに掲載する予定です。 全国版空き家バンクへの登録で移住希望者への訴求力を強化するとともに、移住希望者の誘引にあたっては、連携体制のなかで空き家の紹介はもちろん、それ以外の選択肢については経験やノウハウを豊富に持っている不動産業者等を通じて案内して行くことを目的としています。 空き家バンク登録物件の掲載が進めば、説明会の開催を検討して行きたいと考えています。		
2018年度（H30年度） 取組予定		上牧町空き家バンクに登録される物件の購入を希望する方へメリットのある条件を盛り込んだ不動産会社等との連携協定締結を目指して、協議を進めて行きます。 協定締結後は、町が保有する空き家ストックファイル登録物件情報を全国版空き家バンクに掲載を目指し、空き家の利活用促進に努めて行きます。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	④平成31年度において事業実施予定
		説明 (見通しが「その他」の場合)		
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		平成28年度に実施した所有者アンケートで利活用の意向があった所有者等に対し、再度意向調査を行い、空き家の利活用を検討している方の中で、空き家バンクへの公開を承諾して頂いた物件については、不動産業者等との連携体制構築とともに全国版空き家バンクに掲載する予定です。 全国版空き家バンクへの登録で移住希望者への訴求力を強化するとともに、移住希望者の誘引にあたっては、連携体制のなかで空き家の紹介はもちろん、それ以外の選択肢については経験やノウハウを豊富に持っている不動産業者等を通じて案内して行くことを目的としています。 空き家バンクの契約実績が増えてくれば、参考になる活用事例を紹介していくことを予定としています。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		上牧町空き家バンクに登録された物件の購入を希望する方へメリットのある条件を盛り込んだ不動産会社等との連携協定締結を目指して、協議を進めていきます。 協定締結後は、町が保有する空き家ストックファイル登録物件情報を全国版空き家バンクに掲載し、空き家の利活用促進に努めていきます。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	④平成31年度において事業実施予定
		説明 (見通しが「その他」の場合)		
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		平成28年度に実施した所有者アンケートで利活用の意向があった所有者等に対し、再度意向調査を行い、空き家の利活用を検討している方の中で、空き家バンクへの公開を承諾して頂いた物件については、不動産業者等との連携体制構築とともに全国版空き家バンクに掲載する予定です。 全国版空き家バンクへの登録で移住希望者への訴求力を強化するとともに、移住希望者の誘引にあたっては、連携体制のなかで空き家の紹介はもちろん、それ以外の選択肢については経験やノウハウを豊富に持っている不動産業者等を通じて案内して行くことを目的としています。 一般財団法人移住・住みかえ支援機構（JTI）が実施しているマイホーム借上げ制度を利用して住宅を借上げ、子育て世代に賃貸する取組みの導入を検討します。		
2018年度（H30年度） 取組予定		上牧町空き家バンクに登録される物件の購入を希望する方へメリットのある条件を盛り込んだ不動産会社等との連携協定締結を目指して、協議を進めて行きます。 協定締結後は、町が保有する空き家ストックファイル登録物件情報を全国版空き家バンクに掲載を目指し、空き家の利活用促進に努めて行きます。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 2017年（平成29年）9月26日に町長と副町長がUR都市再生機構の西日本支社の部長と協議を行ったことを契機に、2017年（平成29年）10月11日にUR都市再生機構と片岡台団地の活用に向けた事務担当者レベルからの協議を開始しました。上牧町のまちづくりの方針を反映したUR西大和片岡台の再構築の実現に向けてさらに協議を進めます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 今後もUR西大和片岡台の人口減少が深刻化していくことが予想されるなかで、自治会やタウンミーティングなどにおいても、UR西大和片岡台の現状を案じる声が挙がるなど、今後の活用に向けて、UR都市再生機構と行政間での具体的な協議を望む住民が増えています。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 UR住宅はUR都市再生機構の所有であり、その活用については、所有者の責任範囲となりますが、町民からの要望に応えるとともに、活気のあるまちづくり、人口の維持のためには町関与の必要性があると考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 将来的なUR住宅の集約化や再開発にあたり、町のまちづくりの方向性を反映するため、UR都市再生機構との協議を重ねることで合意形成を図るとともに、町民ニーズの把握や他の自治体の事例の研究なども含め、必要な時間を確保しながら取り組みたいと考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		UR住宅の有効活用の実現に向けては、町民、行政、URとが協働で取り組めるよう、まちづくりの基本方針等について、UR都市再生機構と担当者レベルでの検討・協議を行っていきます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		今後のUR住宅の活用協議にあたっては、町のまちづくりの方向性を反映するため、UR都市再生機構との合意形成を目指し、担当者レベルでの検討・協議を行います。		

38.UR住宅への入居促進

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 近隣大学へのはたらきかけ（啓発物品の設置依頼など）を行いました。入居実績はありませんでした。また、UR都市再生機構への提案も行いましたが、進展もなく、UR住宅への若者世帯の転入者数増加に向けての具体的な施策は実施できませんでした。KPIについても、目標値から遠のきました。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 今後もUR西大和片岡台の人口減少が深刻化していくことが予想されるなかで、自治会やタウンミーティングなどにおいても、UR西大和片岡台の現状を案じる声が挙がるなど、町の活気や住民サービスを維持するため、入居促進に向けての積極的な取り組みを望む住民が増えています。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 UR住宅はUR都市再生機構の所有であり、入居促進にあたってのキャンペーンの実施、商品開発、営業活動等の運営に関しては、UR都市再生機構の責任範囲となりますが、町民からの要望に応えるとともに、活気のあるまちづくり、人口の維持のためには町関与の必要性があると考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 近隣大学へのはたらきかけは行っていますが、成果が出ていないので、町内または近隣市町村にお勤めのかたまでターゲットを広げて取り組んでいくため、民間事業者へのはたらきかけについても検討していきたいと考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		UR住宅の入居促進に向けては、近隣大学の学生へのはたらきかけだけでなく、特に若い世代の社会人の入居者を増やしていくために、町内外の民間事業者へのはたらきかけについて検討を行うなど積極的に取り組んでいきます。また、シェアハウス制度の適用やリノベーションの要望に加え、高齢化する親世代との同居・近居や子育て世代を応援する制度などのサービス面の充実について見直しを求めていきたいと考えています。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		近隣大学の学生に向けた入居促進の啓発活動は継続して実施していく予定です。また、若い世代の社会人までターゲットを広げるため、はたらきかけを行う企業のリスト作成など、町内外の民間企業への啓発活動についても取り組みを進めていきます。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 検討会の設立に向けて、アンケート調査の実施により、ニーズの把握は一定できたものと考えます。 【アンケート結果】 ● コミュニティバスを利用したことがある：「はい」・・・24.7% 「ない」・・・75.3% ● 満足度：「満足」または「やや満足」・・・30.6% 「不満」または「やや不満」・・・32.6% 「ふつう」・・・36.8% ● バス利用頻度：「年に数回程度」・・・31.2% 「週に1～2回」・・・16.2% 「月2～3回程度」・・・16.2% 「週3～4回」・・・8.1% 「週5以上」・・・2.1% ● バスの利用目的：「買い物」・・・52.7% 「2000年会館」・・・44.9% ● サービス向上のための有料化：「反対」・・・55.6% 「やむを得ない」・・・44.4%			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 高齢化の進行に伴い、移動手段に関するニーズは増えてくるものと考えます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 誰もが暮らしやすいまちづくりを目指すうえで、公共交通の利便性の向上については町関与の必要性が高いと考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input checked="" type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 町民のニーズを把握し、その上で課題解決に向けて検討を行うこととしておりますので、現段階において事業の見直し余地はありません。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑧事例等を調査・研究を実施した	事業実施等の見通し	④平成31年度において事業実施予定
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		アンケート調査をもとに、ニーズの把握と回答結果の分析を行ったのち、平成30年度において内部の検討会、平成31年度において交通政策検討会の設置を目指しています。交通政策検討会では、交通利便性における町民満足度の改善に向けて、町外への乗入や有料化など、町民ニーズに沿ったサービスの向上とあわせて、コミュニティバスの充実を図ることで起こりうるその他公共交通機関や隣接する他市町村への影響について検討を行う予定です。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		内部検討会を立ち上げ、公共交通の利便性の向上や町民の移動手段に関するニーズに応えるためにどのような対策を講じるべきかについて検討します。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①	コミュニティバス利用者数	実績（値）	48,700
	取組独自の指標②	町職員によるワークショップ開催	実績（値）	1
	事業の分析・評価の根拠及び理由 利用者数については、平成28年度 利用延べ人数 46,730人に対し、平成29年度は、対前年度 約 4.21%増の利用延べ人数 48,700人であったことから、概ね目標の成果が得られたと考えます。 平成29年度におきましては、巡回バスの運行状況を検討するためのアンケートを実施するにあたり町職員によるワークショップを1回開催しました。利用促進のため転入者の方が窓口に来られた際に、コミュニティバスの時刻表やルート案内図を説明を実施しました。 また、各自治会のご協力のもと、コミュニティバスに関するアンケートを実施し、回収までを行い認知度の向上に努めました。（6,962枚配布 3,665枚回収 回収率52.6%）なお、分析については平成30年度中に実施します。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 現在は、2台のバスで町内を巡回しており、利用者からルート、時刻等に関する意見をいただいております。平成29年度にアンケートを実施しました。その結果を踏まえ検討していきたいと考えます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 高齢者や障がい者などの交通弱者の移動手段として、民間のバス事業者ではカバーできない町内の主要施設を巡回するコミュニティバスが必要であるため。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 現在は、2台のバスで町内を巡回しており、利用者からルート、時刻等に関する意見をいただいております。平成29年度にアンケートを実施しました。その結果を踏まえ検討していきたいと考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		平成29年度にアンケートを実施しました。その結果を踏まえ、今後の運営のあり方を検討していく必要があると考えています。そのため、庁内横断的な会議の開催を実施する予定です。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度におきましては、平成29年度に行いましたアンケートの結果を集計し、町民の方々に広報等でお知らせするとともに、分析結果からニーズを把握し、そこからより利用していただけるような運行形態を検討する予定です。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	⑤その他
			説明 (見通しが「その他」の場合)	①代替事業の実施を検討している
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		上牧町魅力発信ツアーの実施につきまして、現在では代替事業としまして健康増進を目的とした「ささゆりウォーク」が定期的に行われております。また、只今滝川整備事業や久度古墳整備事業に取り組んでおり、整備が完了すれば魅力を発信できるルートが完成するため、これらの事業の完了に合わせまして「ささゆりウォーク」やその他の取り組みと連携を図りながら、上牧町魅力発信ツアーを実施していきます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		健康増進を目的とした「ささゆりウォーク」と連携を図っていくとともに、上牧町魅力発信ツアーを実施するためルートの確認や安全確認等の情報収集に努めていきます。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①	プロモーションツアーの参加者数	実績（値）	50人
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 ベガスフェスタでは多くの来場者があり、まちの魅力や賑わいを感じていただけたと考えます。また、バスツアーについては50名のかたに参加していただくことができ、アンケートの結果においても、「上牧町に住んでみたい」と回答されたかたが10名いるなど、満足度は非常に高く、実施を通じて町外のかたにいい印象を与えることができましたと考えます。その他、上牧町の魅力情報の発信に特化した「移住・定住促進サイト」を開設し、当町の特徴であるコンパクトシティのPRを行うことができ、KPIであるホームページへのアクセスについても前年度より増加しており（前年比20,841回/17.3ポイント）、概ね成果は得られたと考えます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 大阪府周辺のベッドタウンとなる自治体との比較のなかで、知名度の面を考慮すると、転入世帯が住みやすい住環境を町外へPRしていくことは変わらず必要であり、交流人口の増加、地域の活性化につなげてほしいというニーズは今後も増えてくると考えます。			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 町の知名度の向上に向けては、町が主体となって地域を盛り上げ、活性化につなげていくことが必要であると考えます。また、イベント等においては地域との重要なコミュニケーションの場でもあり、地域の実情を知り施策に活かしていくためにも重要となっております。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 イベントのなかでPRを行ううえで、効果検証を重ね、より効果の高い方法を探していく必要があります。また、アンケート等の結果にもとに、転入者増に効果的な事業の実施を検討したいと考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		今後も引き続きイベントやプロモーションについては積極的に取り組んでいきたいと考えますが、経験を糧に民間委託に頼らずにできそうなものもあるように感じますので、限られた予算のなかで事業を効率的かつ効果的に実施できるようにしていきます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		ベガスフェスタの開催、すむ・奈良・ほっかつ！事業によるプロモーション活動を予定しています。		

43.同居・近居相談窓口の設置

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 同居・近居の支援として、問合せに対し、町内の空き家や新築物件のマッチングまで一元的にサポートできるよう、不動産会社との連携体制の構築を目指していますが、現在も協議中です。シニア向けの移住支援コンシェルジュは開設しましたが、現時点では同居や近居を支援する体制も制度もないため、同居・近居の支援を取り扱う窓口とはなっていない状況です。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 高齢化が進行するに伴い、親世代との同居や近居の支援に関するニーズは増えてくると考えます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 行政として、地域社会を支える生産年齢人口の減少が続いている状況において、同居・近居支援はそのターゲットとなる世代への移住促進策として非常に重要であると考えます。また、シニア向け窓口で取り扱うことで町内在住の親世代からの問い合わせも期待できます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 空き家利活用に関する不動産事業者等との連携体制の構築のなかで、同居・近居に関する相談を取り扱うことで機能を確保したいと考えていますが、窓口開設後において、適切に対応できるよう、他の自治体の取り組みや支援について研究したいと考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑦事業の実施に向けた調整・協議を行った	事業実施等の見通し	③平成30年度において事業実施予定
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		同居・近居の支援については、空き家利活用に関する不動産事業者等と構築する連携体制のなかで取り扱うことを想定していますが、特に近居については、空き家物件の紹介など、連携を図りながら課題解決に取り組んでいきます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度からの設置を目指し、不動産会社との連携体制の構築に向けた協議を引き続き行います。また、他自治体の同居・近居に関する支援の研究やURとの協議のなかで支援制度を設けることができないか検討します。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	④平成31年度において事業実施予定
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		この取り組みは上牧町出身者に帰省するきっかけをつくり、ふるさとへの愛着や誇りを再認識していただくことで、Uターンにつなげていくことを目的としていることから、町としてできる支援制度の創設を検討していきたいと考えます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		補助事業以外の支援や他事業の催しとの連携なども含めて検討を行い、平成31年度に要綱設置等により支援制度を創設できるよう努めます。		

45.地域イベントへの招待

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 学生の招待は行いましたが、Uターンの促進という本来の趣旨とは異なりますので、目標とする成果は得られなかったと考えます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 少子高齢化に伴い、地域の担い手も減少してきておりますので、若者を中心とした町出身者のUターンのきっかけづくりに対するニーズは増えてくると考えます。			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 若年層の回帰の促進については、少子高齢化対策の一環として、町が関与する必要性はあると考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 地域イベントへの招待の実現に向けて、ペガサスフェスタに参加している町内在住者を通じて、町出身者との関係構築を図るため、これまでの出演者、出展者への意向調査の段階で町出身者紹介や出演・出展交渉などはたらきかけることにより、新しいものを取り入れながら、将来的な若者のUターンにつながる企画を実施していきたいと考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		③平成29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
		説明 (見通しが「その他」の場合)		
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		ペガサスフェスタを事業対象のイベントとして、他の参加者を通じて町出身者との関係構築を試みます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		町在住のイベント参加者を介して、町出身者にステージ出演またはブース出展を依頼します。		

46.公共施設の相互利用

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	⑤その他
			説明 (見通しが「その他」の場合)	②事業実施の目途は立っていない
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		近隣自治体との公共施設の相互利用を実現することによって、町民の多様なニーズに柔軟に対応でき、より質の高い公共サービスを提供できるようになるメリットもありますが、一方で町民と町外の利用者が同じ利用料で使用できることに対する不満や、町外の利用者が増えたことで利用したいときに利用できないなどの不利益が生じることに対する懸念もあります。要望等を踏まえ、他町と意見交換を図りながら、相互利用の実現、もしくは代替事業の検討など、サービス向上の実現に向けて、町民の利益を最優先に考慮しながら取り組んでいきます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		近隣自治体との公共施設の相互利用の向け、北葛城郡4町における公共施設の相互利用に関する現状を把握し、実現可能性について検討を行います。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	⑤その他
			説明 (見通しが「その他」の場合)	②事業実施の目途は立っていない
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		公共施設の相互利用が実現したのちに、積極的に情報発信を実施していきたいと考えます。相互利用の実現については、要望等を踏まえ、他町と意見交換を図りながら、相互利用の実現、もしくは代替事業の検討などに向けて取り組んでいきます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		公共施設の相互利用と連動する取り組みになりますので、新たに公共施設の相互利用の実現に合わせて積極的な情報発信を行います。また、公共施設の相互利用についての調査・研究を行います。		

48.広域連携による観光プログラムの企画・周知・運営

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①	プロモーションツアーの参加者数	実績（値）	50人
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 北葛城郡地域プロモーションツアーについては、平成28年度に続き実施したものであり、当初は秋と春の実施を目指しましたが、台風の影響で秋の開催が不可能となったため、春に同日開催（2月25日）したところ、北葛城郡外から50名の参加がありました。また、ツアー参加者へのアンケート調査を実施した結果、10名の参加者から「上牧町に住みたい」という回答を得られていることから、移住希望を醸成する取り組みとして一定の効果、成果を得られたのではないかと考えます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 上牧町は鉄道駅がないため、県外のかたが訪れ、地域の魅力に直接触れることができる機会が少ない一方で、生活環境面においては充実しており、大阪都市圏から近く、アクセス面も良好であることから、情報の積極的な発信により上牧町を知っていただくことで、ニーズは増えてくると考えます。			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 現在は行政主体で取り組んでおりますが、民間事業者との連携のなかで稼ぐ力のあるコンテンツにすることで、事業主体を移行していきたいと考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 これまでの経験から、運営面に関してはある程度のノウハウは得られておりますが、ツアーの参加者当人、またはその参加者の口コミ等から移住につなげていく仕組みづくりが必要であると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		プロモーションツアーについては事業は完了いたしました。過去に北葛4町で作成したほっかつワーキングマップの増版や内容の更新に向けて、北葛4町で会議をする等の広域連携を実施していきたいと考えます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		過去に北葛4町で作成したほっかつワーキングマップの増版や内容の更新に向けて、北葛4町で会議をする等の広域連携を実施していきたいと考えます。		

49.久渡古墳群等の文化財の保存及び整備の推進

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①	国民文化祭なら2017 文化財特別講演会と展示企画	実績（値）	1
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
平成29年度は、平成28年度に引き続き、追加、補足のための発掘調査（第7次調査）を実施しました。 調査の内容は、丘陵北東裾の古墳状隆起の再確認・これまで未調査の詳細不明な上牧久渡7号墳及び1号墳の追加調査を実施し、報告書作成をしました。 調査の結果、丘陵北東裾の古墳状隆起は古墳築造時の石材が微量に出土したので、新たに古墳と認識し上牧久渡8号墳と呼称することになりました。また、上牧久渡7号墳は、家形石棺直葬による、6世紀中頃から後半に築造された古墳であり、上牧久渡1号墳は、築造前に先行する埋葬施設の存在を確認することができ、大きな成果が得られたと思われます。 また、平成29年度は国民文化祭が「奈良県」で開催された年であり、「ふるさと上牧の歴史遺産-上牧銅鐸と上牧久渡古墳群-」をテーマに特別講演会と展示企画を実施しました。静岡県指定文化財である上牧銅鐸の200年ぶりの里帰り展示・奈良県指定文化財である画文帯環状乳神獣鏡やそれに関連する町内外の出土遺物の展示を行いました。 平成28年度から実施している「歴史を学ぶ講座」のほかに、平成29年度は町長部局政策調整課と協力し「歴史ガイド養成講座」を実施し、「上牧町の遺跡と遺物ガイドブック」を作成しました。町民の方に、町内の文化財について学び親しんでいただく機会ができたことと分析します。 上牧久渡古墳群普及啓発のため、奈良県文化資源活用補助金を利用し、画文帯環状乳神獣鏡複製品（レプリカ）製作事業を行いました。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
平成30年度からの上牧久渡古墳群整備事業の実施にあわせて、上牧久渡古墳群の注目度も高まっています。				
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
上牧久渡古墳群は平成27年10月に国史跡指定を受けており、上牧町が管理団体に指定されています。上牧久渡古墳群は公有地になっており、整備事業は、国及び県の補助事業であるため、町主体で実施していく必要があります。				
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
平成29年度で発掘調査は終了しました。今後は整備に向けてより良い事業を進めていく必要があります。 平成30年度は、上牧久渡古墳群保存活用計画策定委員会を立ち上げ「上牧久渡古墳群保存活用計画」を策定し、今後上牧久渡古墳群をどのように保存活用していくか協議していきます。 また、上牧町文化財保護条例・施行規則が未制定なので、法整備が必要になります。				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		今後の整備事業に向け着実に進めていく方針です。 年次計画（予定） 平成30年度 上牧久渡古墳群保存活用計画策定 平成31年度 基本計画・基本設計 平成32年度 実施設計・整備工事 平成33年度 整備工事 平成31年度は、まちづくり基本条例に基づき、学識経験者のほかに住民を加えて「基本計画」を策定し、町と住民が協働し整備を行っていきたく考えております。 また、画文帯環状乳神獣鏡複製品（レプリカ）を、町内小中学校の授業などで教材として利用していただけるように、普及啓発に努めていき、次世代に歴史文化を継承していく予定です。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度は、上牧久渡古墳群保存活用計画策定委員会を立ち上げ「上牧久渡古墳群保存活用計画」を策定し、今後上牧久渡古墳群をどのように保存活用していくか協議していきます。 また、上牧町文化財保護条例・施行規則が未制定なので、法整備が必要になります。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
<p>「かんまき笹ゆり回廊」整備の一環として自然豊かな水辺空間の活用するため、滝川遊歩道・自転車道・公園の整備を5ヶ年計画で行う滝川水辺周辺地区都市再生整備計画を立案しました。</p> <p>平成30・31年度で県事業の「奈良の河川彩づくり事業」として、整備を予定している虹の湯下の町有地において、滝川の親水護岸整備を行うための「親水広場整備計画」を高田土木事務所と協議を行い取りまとめました。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	<p>滝川周辺は野鳥や季節ごとの草木が観察でき、町民にとって身近な散歩道となっています。また、高齢化の進展に伴い住民の健康志向の高まりもあり遊歩道整備についての要望は高くなっていると考えられます。</p>			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	<p>滝川整備事業は公有地になっており、整備事業は、国の補助事業であるため、町主体で実施していく必要があります。</p>			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	<p>平成29年度は、事業を進めて行くための事業計画策定や関係機関との協議を行いました。今後は事業を実施する上で地元との協議が必要となってきます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		③平成29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
		説明 (見通しが「その他」の場合)		
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		<p>大学と地元NPOと協働による「滝川における清らかな水辺の創造計画」を実現するため、平成29年度で立案した滝川水辺周辺地区整備計画は、5ヶ年で実施予定です。</p> <p>平成30年度 滝川遊歩道自転車道公園整備に伴う実施設計 平成31年度 遊歩道整備 平成32年度 遊歩道・自転車道整備 平成33年度 自転車道整備 平成34年度 自転車道整備・公園整備</p> <p>平成30・31年度の2ヶ年で高田土木事務所によって、虹の湯下の町有地で滝川の親水護岸整備が実施されます。</p>		
2018年度 (H30年度) 取組予定		<p>滝川水辺周辺地区整備計画は、滝川右岸に遊歩道を左岸に自転車道を整備し、公園を3箇所整備する計画であり、平成30年度は滝川遊歩道・自転車道・公園整備を行うために必要となる測量、土質調査、基本設計、実施設計を行います。</p> <p>平成30年度より高田土木事務所によって、虹の湯下の町有地で滝川の親水護岸整備が実施予定です。</p>		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	⑤その他
			説明 (見通しが「その他」の場合)	②事業実施の目途は立っていない
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		近隣自治体との空き家バンクの共同運営については、各町においてそれぞれ不動産業者等と連携体制をすでに築いており、運営形態や規模など様々であるため、空き家バンクの共同運営については現時点では困難であると考えられます。 また、物件情報の掲載を標準化し全国の物件が掲載され、ワンストップで多数の物件を検索可能な全国版空き家バンクへ参画することで、空き家バンクの登録件数と物件の質を向上させる目的は達成されると考えています。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		上牧町空き家バンクに登録される物件の購入を希望する方へメリットのある条件を盛り込んだ不動産会社等との連携協定締結を目指して、協議を進めていきます。 協定締結後は、町が保有する空き家ストックファイル登録物件情報を全国版空き家バンクに掲載を目指し、空き家の利活用促進に努めていきます。		

52. 町内の優れた技術・能力を有する人材発掘

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
<p>上牧町まちづくり人財バンク登録者の意欲を掻き立て、ノウハウを活用しつつ、学生や一般参加者との多世代交流のなかで、新たなアイデアの創出により起業・創業を通じて地域の活性化につなげるために実施した起業・創業支援セミナー＆ワークショップでは、人財バンクの登録者のうち6名の参加がありました。</p> <p>また、生涯学習講座では健康支援、英語、上牧町歴史ガイド養成の講座で計113名の参加があり、そのうち4名から新たに上牧町まちづくり人財バンクへの登録の応募があり、登録者数は15名から20名に増えました。移住支援コンシェルジュでの周知も含め、一定の効果はあったと考えています。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
<p>高齢化が進行するなかで、高齢になっても、居場所や役割があり、地域とつながりながら希望や生きがいを持って暮らしたいというニーズは今後ますます増えてくると考えます。</p>				
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
<p>官民協働によって実施する事業であり、地域がひとつになってあらゆる世代にとって暮らしやすいまちづくりを推進するため、高齢者の居場所や生きがいを確保しながら、同時に地域にも貢献できる仕組みを町が主体となって取り組んでいくべきであると考えます。</p>				
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
<p>町内の優れた技術・能力を有する人材を発掘するためには、関心を惹く取り組みの実施や人財バンク等の制度の周知などにおいて工夫する余地があると考えます。</p>				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		<p>平成30年度においては、空き家を活用した起業・創業支援に取り組むなかで、知的財産の活用または新たな知的財産の掘り起こしにつなげていきたいと考えます。</p>		
2018年度 (H30年度) 取組予定		<p>社会教育課によるまきっ子塾の継続実施、空き家を活用した起業創業支援の実施を予定しています。</p>		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 広報かんまき6月号において、制度の周知を行うとともに、“多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想”生涯学習出前講座参加者113名に人材バンクの制度の周知と協力を依頼しました。KPIを達成しましたので成果が得られたと考えます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 高齢化の進行に伴い、今後、これまで培ってきた経験や技能を活かした高齢者の生きがいづくりや居場所づくりに関する情報を求める声は増えてくると考えます。			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 人材バンクの情報発信については、町の高齢化対策として取り組んでいる施策とも連動しているため、登録対象者に対しても、活用する側に対しても、施策の実施主体である町が積極的に情報発信を行う必要があると考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 人材バンクについては、活用実績の面で十分とは言えない状況です。今後、どのような分野が充実すれば活用されるのか、どのような情報発信を行えば活用されるのかについて、他の事例も参考にしながら成果を高める工夫が必要であると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		広報やホームページ等における情報発信は継続するとともに、情報発信にあたっては、人材バンクへの登録とあわせて、利活用の面においてもより効果的な人材バンクにするために関心を引きやすい記事の作成、周知活動を検討します。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度においては、人材バンクへの登録に関する周知が中心でしたが、あわせて、登録されている知的財産等の活用についても積極的に行われるよう、周知活動を行うとともに、町民のさらなるまちづくり参画機会の創出につなげられるよう、役場内においても情報共有を行います。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 自治連合会において、長野県飯田市を視察し、飯田市役所職員から株式会社飯田まちづくりカンパニーや住民組織であるまちづくり委員会の設立経緯や取組内容、苦労した点などについてお伺いしました。地域活動の基盤となるまちづくり協議会の設立支援に向けた仕組みの構築を検討するうえで参考にさせていただきたいと考えます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 町民を交えた上牧町まちづくり基本条例検証委員会での検討を機に、地域の多岐にわたる課題の解決の新たな方策として、地域における多様な主体で構成された新たな組織による協働のまちづくりの実現に向けてまちづくり協議会の設立を求める機運が高まることが想定されると同時に、設立支援の仕組みの構築によりニーズは高まると考えます。			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 まちづくり協議会の設立については、あくまで主体となる町民の意思が尊重されるものとなりますので、設立支援に向けた仕組みの構築や地域課題の整理等を働きかけていくことが必要であると考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 まちづくり協議会の設立により、地域活動がさらに推進され、地域課題の解決にも寄与するものであると考えます。ただし、設立については、あくまで主体となる町民の意思が尊重されるものとなりますので、地域課題の整理や機運の醸成までに、働きかけかたの工夫も含めて時間が必要であると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
		説明 (見通しが「その他」の場合)		
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		平成30年度に実施される上牧町まちづくり基本条例検証委員会において、町民のニーズを把握しつつ、必要に応じてまちづくり協議会の設立に向けた具体的な支援策等について検討、協議を進めていく予定です。（平成32年度までに条例制定等の仕組みづくりを行うことを想定）		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度も引き続き、自治会振興会費を交付し地域活動を支援します。また、同じく平成30年度に実施される上牧町まちづくり基本条例検証委員会において、まちづくり協議会の設立に向けた具体的な支援策等について検討、協議を行うとともに、調査研究のため、生駒市へのヒアリングについても実施する予定です。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 ①広報かんまきでは13件の地域活動の紹介を行いました。 ②2000年会館では正面ホールにボランティア活動を紹介するブースを設置、団体活動を紹介できる掲示板が1枚あります。 ③中央公民館、ペガサスホール、中央図書館では団体を紹介している掲示板が4枚ありラックも活用しています。			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input checked="" type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 まちづくりへの参画機会の情報を求めている住民のニーズは現状と変わらずあると考えます。			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 町が地域活動情報を発信することにより、地域活動の活性化につなげ、参画協働のまちづくりを推進できると考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 住民主体のまちづくりがさらに推進されるよう、情報発信にあたっては事例等も研究しながら取り組んでいきたいと考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		今後も引き続き、ホームページや広報等において町民により組織された団体の活動を紹介することで、町民と行政との協働や町民を主体とした取り組みを促進したいと考えます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度においても、広報や公共施設等において、地域活動の紹介を行う予定です。また、ホームページにおいては、地域活動の紹介ページの作成が可能か検討します。		

56.新規NPOの立ち上げ支援

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 NPO団体の立ち上げに関する相談が1件のみで、その相談についても事業自体が一旦白紙となったため、立ち上げ支援の実現には至りませんでした。			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input checked="" type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 現状においても住民による地域活動は活発に行われており、今後もニーズは変わらないと考えます。			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 地域活動の活性化を支援することで、町のまちづくりの基本原則である参画協働のまちづくりの推進につながると考えますので、町が支援していく必要はあると考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 NPO団体の設立支援の実績がないので、スムーズに支援できるような体制の構築と、啓発方法について工夫していく必要があると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		③平成29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
		説明 (見通しが「その他」の場合)		
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		今後も引き続き、上牧町協働のまちづくり公募型補助金の自立事業化前提型補助金の申請を検討されているかたに対し、相談のなかで団体設立の支援について説明していきます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		具体的な設立支援の制度はありませんが、上牧町協働のまちづくり公募型補助金の自立事業化前提型補助金の申請を検討されているかたに対し、団体設立のサポートをしていきます。また、社会福祉協議会とも連携しながら、支援活動の幅を広げていく予定です。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 「上牧町歴史ガイド養成講座」については、50名の定員に対し、65名の応募（社会教育課と協議のうえ全員参加していただきました）がありました。日程の都合上、3回の開催となりましたが、観光ボランティア等の地域の担い手づくりの機運の醸成など一定の成果はあったと考えます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する方向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 高齢化の進行に伴い、これまで培ってきた経験や知識を活かしたボランティア活動を通じて、人とのつながりや生きがいを求めるニーズは高まると考えます。			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A. 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> B. 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C. 必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 実際にボランティアとして活動できるところまで、スキルを身に付けられるようなフォローが必要であると考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 実際にボランティアとして活動できるところまで、スキルを身に付けられるようなフォローが必要であると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		③平成29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
		説明 (見通しが「その他」の場合)		
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		継続的な育成支援など、町民ニーズに対応するとともに、分野等の幅も広げていけるよう、社会教育課との連携を検討します。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		ボランティアの育成については、平成29年度に実施した生涯学習講座のフォロー等を検討します。また、ボランティア団体の設立については、上牧町協働のまちづくり公募型補助金の申請を検討されていることから団体設立についての相談があった場合にサポートをしていきます。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 支援体制については継続して整えておりましたが、平成28年度に問合せのあった下牧1丁目1番地区の自治会設立等については、その後問い合わせが無く、進展しませんでした。			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input checked="" type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 急にニーズが増えるとは考えにくいですが、新興住宅地の開発に伴い、ニーズが発生する可能性がありますので、要望に対し適切にサポートできる体制を維持していきたいと考えます。			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 自治会設立に際しては、地域住民にとっては初めてのことで、不明なことも多く、希望がある場合には、自治会設立の手引きを渡しています。また、新自治会の区域の設定には、もともとの自治会との協議が必要なため、町が関与し、関係自治会との協議の場を設けることが必要です。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 自治会空白期間が長くなっている地域において、自治会の必要性について、理解を浸透させることにも時間を要しています。また、手続きの簡素化などにより、自治会設立のハードルを下げることも検討していますが、提出書類に関することや意思形成に関する事など、どのような簡素化や支援が自治会の設立につながるのか、調査・研究するためにも時間を要しますので、当面は現状のままの運用を行います。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		既存の自治会の改編や新規の宅地造成等による自治会空白地域については、問合せ等があった場合に適切に支援を行います。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度も引き続き、新規自治会の設立を希望する地域へ、自治会の設立の手引きや自治会会則例等を提示して支援を行います。		

59.防災訓練の定期的な実施支援

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①	防災訓練参加人数	実績（値）	560
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
<p>平成29年度は、上牧第三小学校校区防災訓練を実施し、住民・関係者合わせて約400名が参加しました。また上牧第三小学校校区外の各自治会でも多くの住民が参加され、避難訓練や避難所開設訓練、初期消火訓練、非常食の炊き出し訓練などを行い、概ね所期の目的が達成できたと考えています。</p> <p>今回の訓練を通じ、住民一人ひとりが、自分の身は自分の努力によって守る「自助」、地域や近隣の人々が協力し合いながら防災活動に組織的に取り組む重要性「共助」を理解してもらおうとともに、会場において防災に関する様々な体験をってもらうことで、町民の防災意識の高揚につながったと考えています。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	<p>近年、大規模災害等が発生しているなか、災害発生時の初期対応については日頃からの訓練が重要と考えられています。住民の防災意識も高まっており、防災訓練への関心が強くなっています。</p>			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	<p>町が中心となって実施することで、住民や各関係機関（警察・消防）と連携して訓練することができ、災害発生後の災害対策本部の設置や情報収集、避難勧告の発令、救急救命等の的確な指示、応援要請の速やかな判断など、各分野において迅速かつ的確に対応しなければならないことから、町が中心となって防災訓練を総合的に行う必要があると考えます。</p>			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
	<p>平成28年度より小学校校区を順番に防災訓練を実施しています。回数を重ねる毎に参加団体を増やしていき、関係機関とも協議しながら進めていきたいと考えます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		<p>今後も関係機関と協議しながら進めていきたいと考えております。また、小学校校区毎に毎年防災訓練を実施しており、終了後には町全体での防災訓練を実施していきたいと考えております。</p> <p>また、防災訓練の取り組みにおいても、台風の連続発生や異常気象による水害・土砂災害が全国で多発していることから、それらを想定した訓練の実施も検討していきます。</p>		
2018年度 (H30年度) 取組予定		<p>平成30年度は上牧第二小学校校区で実施予定です。</p> <p>防災士資格取得の支援や防災かまどベンチの作成のための材料支援なども継続して行い、地域防災力の向上を目指し、防災士資格を取得されている方には、防災訓練への参加を要請し、防災士育成も図っていきます。</p>		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	⑤その他
			説明 (見通しが「その他」の場合)	②事業実施の目途は立っていない
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		<p>近隣自治体との合同防災訓練の実施については、各町において訓練の形体や規模など様々であるため、大規模の合同実施は現時点では困難であると考えられます。しかし、毎年のように全国各地で災害が発生していることもあり、非常時における近隣自治体との連携は必要不可欠であると考えておりますので、各町との調整を行い、実施に向けて企画立案できるよう取り組んでいきます。</p>		
2018年度 (H30年度) 取組予定		<p>北葛城郡4町の防災担当者と協議検討を行います。</p>		

61.子供向け防災教室の拡充

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①	ペガサスフェスタ防災体験コーナー参加者数	実績（値）	121
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 小中学校のシェイクアウト訓練参加周知は実施でき、訓練にも参加していただきました。 また、集客の高い町イベント「ペガサスフェスタ」において、親子で体験できる救命救急講習会は盛況で、多くの子どもたちに参加してもらうことができ、参加者数は目標値を上回りました。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 災害に強いひとづくりとして、防災に対する正しい知識と対処方法をもっていることが重要であり、子供向け防災教室の充実や次世代の担い手育成の醸成が求められています。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 防災教室については、より多くの子どもたちに参加してもらうことが求められるので、政策間連携、地域間連携を図りながら効果的な実施を目指していく上においては、町の関与が不可欠であると考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 シェイクアウト訓練参加実態の把握やすべての学校で参加できていないことから周知の方法に課題があります。 また、ペガサスフェスタの体験コーナーは盛況でしたが、同じ内容を繰り返すのではなく、子どもたちの防災意識を高めるためには、新しい体験コーナーを検討していく必要があると考えています。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑥平成28～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		毎年、小学校校区毎に防災訓練を実施しており、防災訓練の中で体験型コーナーを設けるなどして啓発に努めているところです。 学校、幼稚園、保育所においては、防災関係機関等と連携しながら、災害に備えて訓練や学習を実施していきたいと考えています。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		<ul style="list-style-type: none"> ●親子で学ぶ体験型防災教室 ・救命救急講習（AED、心臓マッサージ）⇒ペガサスフェスタ ・初期消火訓練⇒総合防災訓練 		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由 採択事業は平成28年度と同様4件でしたが、申請実績としては6件で目標値を上回っていることから、概ね目標の成果を得られたと考えています。 (申請6件の内、補助対象事業として採択された事業は下記の4件で補助金交付総額は296,765円です。) ①子どもたちとともに作る、ハンドメイドクラフト上牧町の明るい未来 ②子どもサバイバルキャンプ考える防災教育ー ③結婚支援事業 ④さぶらいぶ・ペガ			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 申請までに至っていない相談、問合せも多数あります。活用実績に伴い、認知度が高まることで、ニーズは今後さらに増えてくるとともに多様化してくるものと考えます。			
町関与の必要性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 上牧町まちづくり基本条例第3条の基本原則に基づき創設された制度であり、地域の実情や課題に対し、町民が自主的に行う活動を支援することにより、町民により組織された団体の育成、地域の活性化、地域課題の解決を図り、町民と行政との協働によるまちづくりの推進を目的としていることから、地方自治の実施主体である町関与の必要性は高いと考えます。			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由 限られた予算のなかで、今後さらに広く町民に活用、参加していただくためには、地域活動の担い手となる人材の掘り起こしや補助金活用団体の自立に向けた支援が必要であると考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑤平成27～29年度実施済み	事業実施等の見通し	①継続
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		平成28年度の制度改正により弾力化が図られたことで制度利用の活発化が続いていることから、事業内容については当面、現状のまま継続しながら、今後さらに広く町民に活用、参加していただくために、地域活動の担い手となる人材の掘り起こしや補助金活用団体の自立に向けた支援についても検討していきたいと考えます。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度も引き続き、町の活性化に資する公益的活動を行う団体の育成と住民参画の観点重視した町民と行政との協働のまちづくりを推進するため、当該事業を実施します。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	④平成31年度において事業実施予定
		説明 (見通しが「その他」の場合)		
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		空き家の利活用体制の構築に合わせて、不動産会社との連携協定のなかで、事業者向けのリフォームに関する取り組みを検討していきます。 また、「多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想」のなかで取り組んでいる起業・創業支援事業において、空き家を活用したモデル事業の展開を予定していますので、起業支援事業と連携して起業希望者や事業者の空き家への入居促進に取り組んでいきたいと考えています。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		空き家の利活用の体制構築に向けて、その土台となる不動産会社等との連携協定締結を目指し、関係事業者と協議を進めます。 また、「多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想」において取り組まれる空き家を活用した起業支援事業のなかで、起業希望者や事業者に向けて空き家利活用の促進を図ります。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	④平成31年度において事業実施予定
		説明 (見通しが「その他」の場合)		
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		<p>平成28年度に実施した所有者アンケートで利活用の意向があった所有者等に対し、再度意向調査を行い、空き家の利活用を検討している方の中で、空き家バンクへの公開を承諾して頂いた物件については、不動産業者等との連携体制構築とともに全国版空き家バンクに掲載する予定です。</p> <p>地域団体組織や町内NPO組織、民間事業者等に対し、空き家バンクをアピールし掲載物件の情報提供を行い、勤務者や従業員の入居促進を図ります。</p>		
2018年度 (H30年度) 取組予定		<p>上牧町空き家バンクに登録された物件の購入を希望する方へメリットのある条件を盛り込んだ不動産会社等との連携協定締結を目指して、協議を進めていきます。</p> <p>ホームページや窓口等において空き家バンクの周知、利用啓発を図るとともに、地域団体組織や町内NPO組織、民間事業者等に対し提案を行うなど、直接はたらきかけていくことで勤務者や従業員の入居促進を図ります。</p>		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する方向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A. 必要性が高い <input type="checkbox"/> B. 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C. 必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	④平成31年度において事業実施予定
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組方針		求人情報のオンライン提供の導入に向けてハローワークとの連携体制の構築を図ります。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度においては、求人情報のオンライン提供の導入に向けて協議を行います。		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A.目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B.概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C.目標とする成果は得られなかった		
	取組独自の指標①		実績（値）	
	取組独自の指標②		実績（値）	
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A.増加する方向にある <input type="checkbox"/> B.現状と変わらない <input type="checkbox"/> C.減少する方向にある		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
町関与の必要性	評価	<input type="checkbox"/> A.必要性が高い <input type="checkbox"/> B.必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> C.必要性が低い、ない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			
事業の見直し余地	評価	<input type="checkbox"/> A.見直し余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B.見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C.見直し余地がない		
	事業の分析・評価の根拠及び理由			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

2017年度（H29年度） 終了時点の実施状況		⑩未実施	事業実施等の見通し	④平成31年度において事業実施予定
			説明 (見通しが「その他」の場合)	
取組（事業）の方向性		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了(時期：)		
投入資源 の方向性	事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
	労働量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小		
今後の取組方針		町内の雇用創出が課題になるなかで、子育てママの就業支援事業やアクティブシニア向けの起業支援などを実施しており、事業への参加を通じて本格的な社会復帰を検討されるかたも増えることが考えられますので、ハローワークとの連携のなかで就職準備セミナーやマザーズセミナーの開催についても実施に向けて協議を行います。		
2018年度 (H30年度) 取組予定		平成30年度においては、ハローワークとの連携のなかで就職準備セミナーやマザーズセミナーの開催に向けて調整・協議を行う予定です。		